

プログラム名 【オンライン】やねだん故郷創世塾 ～卒塾生と塾長が語る with  
withコロナ、常態化する自然災害に適応する地域活動について～

単元名 RA

アンケートタイトル 【オンライン】やねだん故郷創世塾 ～卒塾生と塾長が語る  
withコロナ、常態化する自然災害に適応する

質問1 本プログラムを知ったきっかけを教えてください。（自由記述）

【自由記述】

- ・ KK2からのDM
- ・ 創生塾FBで知りました。
- ・ メールによるお知らせ。
- ・ 本部からの情報です。
- ・ 勧誘
- ・ やねだん創世塾福祉関係担当の■■■■氏からの情報
- ・ 卒塾生■■■様からのメールで知りました。
- ・ 本部からの連絡です。（社会福祉法人スマイリング・パーク
- ・ やねだんHPで知りました
- ・ 社会福祉法人の本部からの紹介
- ・ 弊社代表からの情報
- ・ ■■■さんからのご案内。KK2メルマガ、フェイスブックなど。
- ・ メルマガ
- ・ 本部からの紹介です。
- ・ 紹介
- ・ 霞が関
- ・ 卒塾生になります。
- ・ 卒塾生からの紹介（同社内）
- ・ 会社からの案内
- ・ 事務局よりの周知により知りました。
- ・ 職場で案内があった
- ・ ■■■さんのFB

- ・霞が関ナレッジのサイトをみて知りました。
  - ・椎川理事長のSNS
  - ・KK2 Web
  - ・施設内での広報あり。卒塾生でもあり、参加しました。
  - ・会社の指示
  - ・やねだん故郷創世塾メーリングリスト
  - ・kk2により知りました。
  - ・事務局の方からのご紹介。
  - ・（一財）高度映像情報センター様からのご紹介
  - ・塾長からのダイレクトメールです。
  - ・やねだんのメーリングリストから情報が届きました。
  - ・やねだんから案内がきました。
  - ・社内の案内
  - ・やねだんHP
  - ・会社からの参加要請
  - ・オンラインでのやねだん故郷創成塾の可能性を感じました。時間管理がしっかりなされていてよいのですが、もう少しフラフな感じでもありではないかと思いました。今後は是非続けてほしいと思います。今日は貴重なお話をありがとうございます。
  - ・職場で紹介されて
  - ・面白く、楽しく、勉強になる5時間45分の講義でした。ありがとうございました。
- 
- ・社内のお知らせによって
  - ・会社関係の人に紹介を受けて
  - ・会社の紹介
  - ・KK2からのお知らせ
  - ・会社の上長からの薦め。
  - ・社内メール
  - ・KK2メルマガで知りました。
  - ・会社からの案内
  - ・職場の研修として

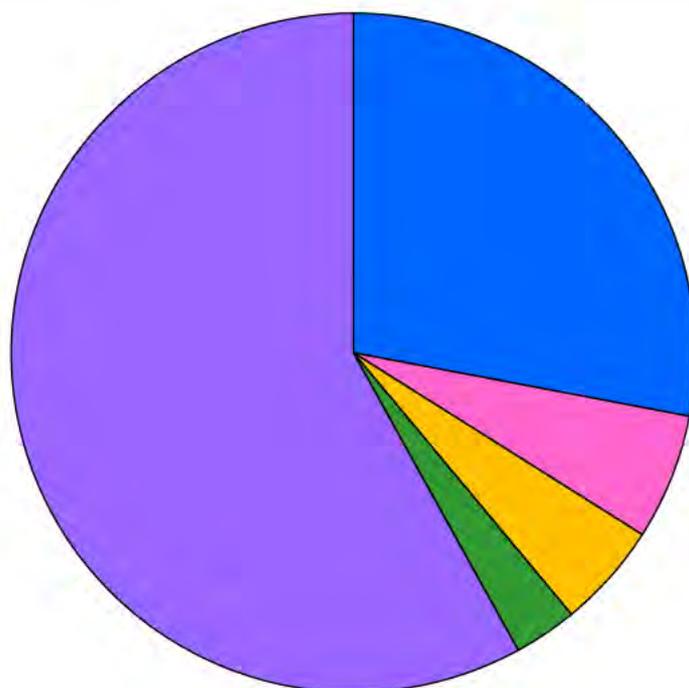
- ・社内にて知りました。
- ・やねだん故郷創世塾卒塾生。 豊重塾長からのお知らせを頂きました。
- ・KK2プログラムのホームページで。 職場の推薦
- ・職場内における回覧で今回の開催を知りました。
- ・やねだん卒塾生メーリングリストでの案内と豊重塾長からのお手紙を頂きましたありがとうございます。
- ・会社からの紹介。
- ・霞が関ナレッジスクエアのホームページからです。
- ・事務局 ■■■氏よりの紹介
- ・会社の案内、指示。
- ・社の案内
- ・霞が関ナレッジスクエアのホームページ
- ・全員研修です。
- ・やねだん故郷創世塾に関係者で参加しました。
- ・会社からの紹介
- ・コロナ過で、テレワークの一環でKK2の動画配信視聴と、会社の研修で知りました。
- ・塾長からご案内いただきました
- ・豊重館長からのお誘い
- ・豊重さんから招待を受けて。
- ・KK2事務局のKさんからお誘いがありました。参加して良かったです。お誘い下さり本当にありがとうございました。
- ・職場での案内
- ・会社の研修として。
- ・会社からの案内
- ・やねだんや豊重さんの活動に以前から興味があり、職場にチラシが来たため。
- ・会社研修
- ・霞が関ナレッジスクエアのウェブサイトで見つ
- ・仕事関係で知りました。
- ・社内研修
- ・会社の紹介で本プログラムを知りました。

- ・ kk2案内メール
- ・ チラシ
- ・ 会社よりの紹介
- ・ 会社の紹介
- ・ 会社からの視聴指示によります
- ・ 会社からのメールで
- ・ お誘いがあったため。
- ・ 本市担当からの紹介
- ・ 卒塾生です。
- ・ 社内の案内で知りました。
- ・ やねだん故郷創世塾メーリングリスト
- ・ やねだん事務局からのお知らせ
- ・ 卒塾生からの紹介
- ・ KK2のメルマガで見つけました。
- ・ 社内通知
- ・ KK2のチラシから。
- ・ facebookページの告知投稿を拝見しました
- ・ やねだんメールにて
- ・ 豊重会長からの案内状
- ・ Webページから
- ・ ある日、豊重塾長から電話で お話を伺ったことです。 高齢の塾長から最新の話や構想などお聞きし、時代の牽引する方は心構えが常に前向きで素晴らしいと感じました。
- ・ 職場の医師からのすすめ
- ・ ホームページより
- ・ 社内の案内
- ・ 以前からやねだんについて興味をもっていたため。
- ・ 関係者からの参加呼びかけによる
- ・ 社内連絡
- ・ 会社からの案内

- ・ 職場からの案内により、知りました。
- ・ 職場内情報
- ・ 事務局からの案内
- ・ 塾長からの電話 & K K 2 web
- ・ 集落営農研修で塾長が紹介してくださり、その後、やねだんオフィシャルWEBサイトで確認させていただきました。
- ・ 豊重会長より案内をいただいた。
- ・ KK2からのメールにて
- ・ 卒塾生
- ・ k k 2 メルマガ
- ・ AVCCからの連絡を受けて知りました。

質問2 あなたの立場を教えてください。(択一式)

No	解答	人数	%
1	やねだん故郷創世塾卒塾生 (卒塾生の方はこちらをお選びください)	34	28%
2	地方創生・地域振興等関係者	7	6%
3	医療・介護・障害者福祉等関係者	6	5%
4	学生	3	3%
5	その他	70	58%
合計		120	



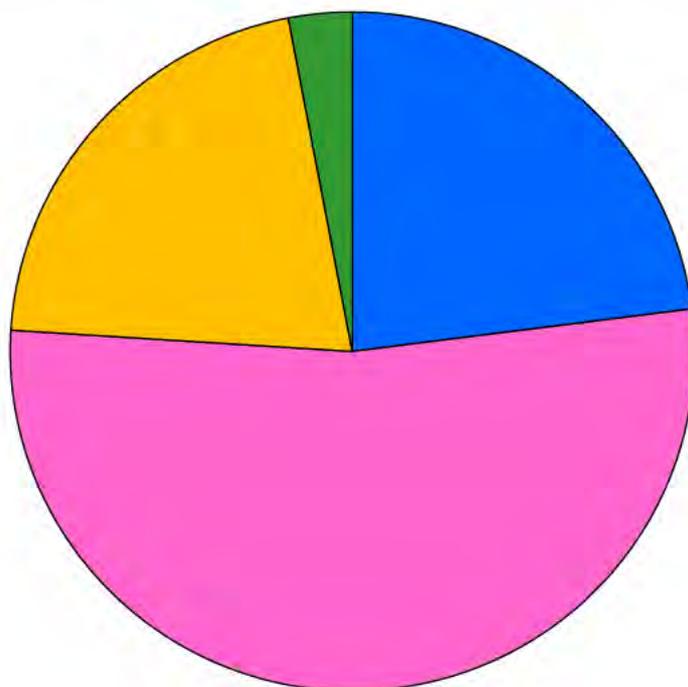
質問3 参加された目的/興味あるテーマを教えてください。(複数選択式)

No	解答	人数	%
1	生活課題の解決	28	8%
2	仕事課題の解決	25	7%
3	地方創生・地域活動	67	20%
4	医療・介護・障害者福祉	28	8%
5	withコロナを生きるヒント	61	18%
6	自然災害への対応	22	7%
7	やねだんモデルの実装	31	9%
8	やねだん故郷創世塾の人財育成・社会教育・生涯教育	60	18%
9	その他	13	4%
合計		335	



質問4 参加された目的は達成できましたか？（択一式）

No	解答	人数	%
1	大いに達成した	27	23%
2	達成した	64	53%
3	どちらでもない	25	21%
4	あまり達成しなかった	3	3%
5	達成しなかった	1	1%
合計		120	



【自由記述】

- ・プログラム開始から、久保田代表のご挨拶に切り替わった瞬間に通信が途絶えて、再度入りなおししなければならず、残念でした。
- ・卒塾生としてはやねだんの子もたちの成長を見てとれてとても嬉しかったです。
- ・岩切さんのお話しが一番心に沁みました。そのことだけで質問4の「達成」と思えます。
- ・声が聞きづらかった
- ・やねだん歓迎会での子ども達の普段の成果の発表は、元気で積極的な活動は相変わらずでうれしかったです。また、小泉環境大臣の現地で実際に触れる大切さに共感を覚え、椎川さんのオンラインとリアルを組み合わせた創世塾の在り方には大きな可能性を感じました。
- ・オンラインに慣れないので、このような感じなんだと受け止めています。
- ・偉大な方のお話に感動、驚きでした。子供達の歓迎が伝わり嬉しかったです。
- ・子供達の一生懸命な姿、豊重塾長、奥様のお元気な姿を拝見しとても嬉しく、5年前が蘇りました
- ・小泉大臣の話聞いて感動しました。
- ・地域の子供たちの明るい表情が見れて大変良かったです。福島市民として小泉環境大臣のお話感動しました。
- ・やねだん歓迎会  
子供たちの生き生きした映像が親しみを感じ、たいへん工夫したオープニングでした。小泉さんのと豊重さんから学んだ現場主義。ぜひ、行政職員に徹底してほしい。現場1回で済ませるのでなく、現場100回を心がけてほしい。
- ・「やねだん故郷創生塾」の紹介だといいと思います！
- ・地域の子もたちの発表があり、密接した繋がりを感じる子とができました。小泉進次郎氏の出演に驚きました。
- ・間に合わずみれませんでした
- ・久々に塾長に「生の声」聴けて嬉しかったです。やねだん研修のことを思い出しました。
- ・豊重塾長の元気なお姿を拝見できたのが一番の収穫です！子供たちの歓迎会もありがとうございました。
- ・子どもたちの歓迎会、心温まりました。実際にやねだんに出向いたような気持ちになりました。各地からのご挨拶も塾の広がりを感じられてよかったと思います。
- ・やねだんの創立についての歴史など確認ができた。また、改めて共助についての重要

性を再認識できた。

- ・ やねだんが支持されていることがよくわかりました。
- ・ 「やねだん歓迎会」で歓迎してくれた子ども達が可愛かった。
- ・ これから始まる感があってよかったです。
- ・ 久しぶりに、柳谷地区の子供さんたちの歓迎会を思い出し、とても素敵な気持ちになりました。成長している姿が、すごいと しみじみ思いました。
- ・ 大変勉強になった。
- ・ 子供たちの元気なあいさつで一体この後何が起こるのかと思ったが、実はそれこそがこのリモート講演会のテーマに相応しかったんですね 結核が蔓延した戦後と同様に時代の転換期を迎えているが、デジタル化が遅れていたやねだんをはじめ、リモートを使った新たな地方創生の動きが出てくると思います。
- ・ スムーズに進行したと思う。
- ・ 子どもたちに感謝。最高のアイスブレイクですね。
- ・ 子供達の奮闘ぶりが伝わり、とても明るい気持ちになれました。良かったです。
- ・ 面白く、予想を超える展開に感心しました。
- ・ やねだんファミリーの方の絆の強さが分かるオープニングでした。
- ・ やねだんが地域再生活動のストーリー提供と人材教育を推進していることが分かった。
- ・ 在宅、リモートワーク、オンライン等、働き方が大きく変わった
- ・ 久保田理事長が発信された新たなオンラインの手法・・・インパクトが強かった。とても良かったと思います！
- ・ 思わず拍手してしまいました。ただ動きが激しいところでは画面が一時フリーズしてしまったことが残念でした。
- ・ 柳谷集落（やねだん）の子供たちの工夫を凝らした歓迎セレモニー、かわいらしくとても良かったです！ 椎川理事長と岩切鹿児島県副知事のお話も今後の共生協働の地域づくりについてとても参考になりました。
- ・ 小泉環境大臣のビデオレターがあったのは良かったと思います。
- ・ 長時間でしたが、その長さを感じさせなくなるほど内容が濃かったです。
- ・ 子どもたちも準備して下さったことに地域の団結力を感じた。みな楽しそうで、やねだんが大好きで誇りなんだろうと推察した。
- ・ プログラムの表示（時間と内容など）が有ればよかった。
- ・ 次郎議員のVTRは良くも悪くもハクがつく。子供たちの歓迎イベントは初めての参加者にとっては？？？だが、参加者のほとんどがやねだん、そして豊重さんのことを知っていると考えればOKかと。

・ネットワークのせいなのか！？最初の方で映像と音が止まってしまう現象が起き、その後も何度も頻繁に起きましたが、「ライブ視聴の方法につきましてこちらのPDFをご参照ください」がHPの適正な位置に置かれておりましたので、予め確認しておく事が出来たため、それをカバーすることが都度出来ましたので本当に助かりました。

・子ども達の演奏、ダンス、手品などに、ほっこりしました。大人たちの前で照れ臭かったと思います。ありがとう。

・導入は、地域の子供たちの歓迎会からはじまり、緊張感が和らぎとても良い導入でした。

・鹿児島県の副知事の話まであり、やねだんの取組みの注目度の高さ、広がりを感じました。

・自宅からオンライン参加していましたが、子供たちの発表で和みました。また環境大臣であられる小泉大臣の現場主義という言葉に共感した。

・子どもたちが可愛かったのはもちろんですが、高校生の女の子が年長者として場を取り仕切っていたことに関心しました。異年齢の子どもたちがコミュニケーションを気軽に取れ、みんなで何かやってみることの一つの姿であったと思います。こうしたナナメの関係づくりは、地域が担うことだと強く思いました。この日のために頑張ってくれた子どもたち、心からありがとう。とても幸せに気持ちになりました。

・子どもたちがそれぞれの個性を生かして発表したことが、やねだんの地域づくりを象徴しているように感じた。

・子どもたちによる歓迎会はとても良かったです。英語、手品、ピアノ、ピアニカ、ダンス、みんな生き生きとしていて、普段から豊かな生活をしていることが伝わってきました。

・子供たちが、それぞれ出来ることを一生懸命に発表する姿は、とても交換が持て、微笑ましいと感じた。

・出来るだけVTRなしでライブで配信した方が良かったです。

・それぞれの年齢で出来ることをやる姿に感動した。また、一人一人に声かけし、褒める豊重さんが素晴らしかった。

・子どもたちの発表はVTRでしょうか？少し編集してあげてテンポを出しても良かったと思います

・スムーズで分かりやすく良かったです。

・アンケートがこんな風に（オープニング、第1部、2部…）分かれていると知らなかったの、最初の方はどんなだったか記憶も薄れてしまったので、できれば「アンケートはこんな質問があります」ということが最初にわかれば良かった。そうすれば、その都度アンケートの記入ができたと思います。

・疾病等の流行が繰り返されていることが確認できた。コロナに限らず、これからも新しい疾病が発生することを忘れてはいけないと感じた。

・心に残っているのは小泉進次郎さんの「現場を知る」ということでしょうか分かっているけど行動に移すのはなかなか難しいこともありますがとても大切ですね。

- ・やねだんの子供たちがかわいらしかった
- ・とても温かみのあるオープニングでした。
- ・すべてのテーマに共通するのはコミュニケーションの大切さ、ということだと思いません。 コロナ禍で大変なことになっていますが、それによりリモートが急速に発展、普及したことはプラスだと思います。 複数人が同じ時間に同じ場所に集うのが一番のコミュニケーションだという価値観が一気に変わりました。 これにより移動時間を無くすことができ、自由時間というたいへん大切なものを得ることが出来ました。 新しいコミュニケーション形態と自由時間、これがコロナ時代を成長を伴って生きていくことにつながるのだと思います。
- ・やねだん～k k 2～各地のスピーカーをWeb会議でつなぐことで、かなり突っ込んだ心のふれあいが可能だということに気付かされた。 Web会議での大勢の参加では表面的な理解しかできないものと勘違いしていた。
- ・やねだんの生い立ちがわかった。
- ・柳谷町内会の子どもたちが一生懸命取り組む姿が伝わり、感動しました。
- ・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。 すみません。
- ・塾長や奥様、地域の子供達の元気な様子が分かり嬉しかった。
- ・事前収録など、一人5分～10分は、拝見しやすかった。
- ・コロナとの付き合いは数年続くと言われ少しショックだった。
- ・音質に課題有
- ・やねだんをメディアなどから取材の形でとらえたことからわかりやすいお話が聞けた。
- ・やねだん歓迎会の心が温くなる出し物と、有識者の方々からのメッセージに励まされました。 やねだんらしさあふれる素晴らしいオープニングでした。
- ・小さな子供から年頃の高校生までが一体となった歓迎会に感動した。
- ・ZOOMにての初めての施行という事ですが 初めてとは思えない行き届いたプロデュースに感服です。 地域の方々の活躍の一端も垣間見れうれしい限りです。
- ・小泉大臣のVTRが、セミナーに大きな格を与えていました。 その分、映像と音が大きくずれていることが残念でした。
- ・子ども達の歓迎が、いつものやねだん流おもてなしといった感じで良かったです。 久保田理事長のご挨拶が収録のように感じたのが気になりました。
- ・やねだんの子供たちによる歓迎会が楽しい雰囲気でも良かったです。
- ・多くの方が出演され、特に子どもたちの発表シーンはとてもよく印象に残りました。
- ・（回線状態の問題で）前半は頻繁に途切れ視聴しにくい状況が続いた。

- ・小泉進次郎さんの生の声が聞いてよかったです。
- ・子供達の出し物により、いっきに塾の記憶がよみがえりました。ありがとうございました！
- ・小泉環境大臣の現場情報収集について共感できるが、是非大臣の立場で実践して欲しいと思われる。
- ・やねだんの子供たちの元気な姿の映像は元気をもらいました！
- ・塾に参加した時のことを思い出させてくれる子どもたちの演出に心温まりました。
- ・行政に頼らない、行政なんか！と意を唱える言葉でなく、行政は地域総力戦のメンバーの1人といった言葉が、敵味方ではないから当たり前か！と思いながらとても新鮮でした。同じ釜の飯を食う、そんなことをイメージし、くそこには肩に手を回す仲間の姿が浮かびました。
- ・小泉大臣の現場主義の考えに感銘を受けました。
- ・子供たちをみていると、やねだんに行ったような感覚になりました。ありがとうございました。
- ・丁寧なガイダンスで良かったと思います
- ・良かったと思う

## 【自由記述】

- ・懐かしい方々を見れて嬉しかったです。
- ・豊重イズムは支持してますけど、出町さんが言うところの「融和」とは違うと思っています。
- ・声が聞きづらかった 過去になりすぎて何を話していたのか忘れた。
- ・やねだんや塾長の姿勢をメディアの目を通して伝えていただきありがとうございます。土居さんの相変わらずの元気な姿に出会えてうれしかったです。またリアルで会いする機会がありますように
- ・色々施設の取り組みが、参考になりました。
- ・理解と納得について豊重塾長からの言葉にはとても重みを感じました
- ・テレビ関係者の方の話や土井さんの話が聞けて良かったです。
- ・人と人を結びつけるパワーが更に人を集める事を実感いたしました。
- ・リアルとオンラインのハイブリッド。近視眼的にオンラインをすすめるのではなく、やはりリアルが主、次善の措置としてのオンラインとの併用。共感する。
- ・やねだんの取り組みを広げるきっかけとなった山ガタ由美子さんのお話などが拝聴できて面白かったです。
- ・間に合わず見れませんでした
- ・それぞれの取組素晴らしいと思いました。
- ・土井さんもお元気そうでなによりです
- ・やねだんに関わってきた方々からみた「やねだん像」を知り、次の第三部への期待が高まりました。補欠がない社会、いいですね。
- ・長期間かけての取材を行った経緯などがわかり参考となった。
- ・地方創生について考えることができてよかった。
- ・2人のマスコミの方がなぜやねだんに惹かれ、やねだんのことを発信しようと思ったかがよくわかりました。
- ・皆様の和気藹々としているのが、とても印象的でした。
- ・やねだんで経験したことを振りかえることができた。
- ・やねだんの魅力に引き込まれていく山縣さん出町さんのお話楽しかったです。行政に頼らない身近なリーダーの必要性を感じました。お二人の本もぜひ読んでみたくなりました。

- ・地方がどのように苦勞してるのか興味深かった。
- ・地方創生はこのコロナをきっかけにJ本格化するでしょう。もう東京にいる必要はありません。やねだんは事例としてどんどん進んでほしいと思います。
- ・小泉環境大臣の身近な体験のお話が、わかりやすく、良かったです。
- ・面白かったです
- ・一人になってでもやってやろうという精神、ピンチをチャンスに変える姿勢など一貫した姿勢が素晴らしいと思った。
- ・「やねだん」の歴史やその目指す目的・目標等を最初に詳しく述べてほしかった。初めて参加する人にもわかるように。そうしないと内輪でやっている会合としかみえない。
- ・政府や自治体の支援に頼らないという意気込みは大切だけど、それが無いと実現しないのかなと考えさせられた。
- ・地域活性化の取り組みとして大いに日本の先駆けとしての活躍を期待しております。
- ・リアルとオンラインのハイブリッド
- ・地方創生という取り組みを聞いて、私たちの地域がどうなのかということを考えてときに、横のつながりとか地域で行うべきこととかを
- ・土井ちゃん、出町さん、山縣さんのかけあいによる話の組み立ては勉強になった。リアルよりも、じっくりと内容を理解できた気がした。
- ・セミナーがあんまり長いので最初のほうはどの話が第1分かよく覚えていません。挨拶ばかりだった記憶があります。」
- ・やねだんを長年取材されてきた皆様のお話、とても貴重でした。私がやねだんを知るきっかけになったのは、テレビや新聞のメディアを通してでした。
- ・感動しました。違う局のメディアの方々が同じ、やねだんにより、連携して、より良い地域をつくる。そういう結びつきをつくる。やねだんはすごいと思い、そういったミニやねだんを私たちが各地につくっていく役があるのだと改めて思いました。現地塾で思った時の、気持ちを思い起こささせていただきました。ありがとうございます。
- ・「補欠はいらない。全員レギュラー」という言葉が印象に残った。
- ・紹介されていた本を今度、読んでみます。
- ・やねだんの活動の詳細を知らなかったため、ちょっとおいていかれた感じではあるが、皆さんのメディアや行政の方々も感心する自信を持って発信しているモデルケースなのだと分かった。塾長の懐の深さが一役買っているのであろうことも感じられた。
- ・やねだんの歩みといかに地方創生に実績を上げて来たかが分かった。
- ・長年豊重塾長を取材してきたマスコミの方がやねだん・豊重さんを語るのがよかった。取材者と取材対象者の間の信頼関係がにじみ出る感じで好き。
- ・地方創生とやねだんの歴史や人との関りがとてもよく理解出来ました。

・山縣さんはさすが元アナウンサーということだけあって、大変聞きやすかったです。土井さんの素朴な疑問に苦心して答えていらっしゃるのが面白かったです。

・小泉さんの掴み、本題に集中するきっかけ、参加者を公的な議題への誘導に成功したのかなと思います。土居さん、相変わらず元気そうでうれしかった。

・今回参加されたメディア関係者の方により、報道や著書を通して良い形で活動が伝播していることを感じました。

・始めて参加しましたが、やねだんについて語られる熱量がみなさんすごく、やねだんを参考にした地方創生のすごさが伝わりました。

・地域づくりに全員野球で取り組むこと。そのためには、住民それぞれが感動をする何かを経験すること。ミドルリーダーの育成が叫ばれていますが、そうした目先のことでなく、普段の地道なコミュニケーションを大切に、関係性作りを継続しながら、みんな一人ひとりが主役だと誇れるようになるまで活動する。理屈ではなく経験、そして感情が揺さぶられ、担い手として自覚し、ミドルリーダーとなるのかなと思いました。

・人材育成が着々と広がっていることがわかった。

・メディア関係者による対談、興味深く聴かせてもらいました。椎川さんがおっしゃっていた「自分が十分に理解していたいまま報道で取り上げることに不安があった、十分に伝えられるようになるまで取材した」というお話に感銘を受けました。さらにそれを実践するのですから、凄いなと思ったと同時に、「やねだん」に対する興味が、ここでグッと上がりました。

・やねだんよりも豊重哲郎さん個人に内容が終始していたように思われました。

・こんな素晴らしい活動を情熱を持って長く続けられること、後継者が育ち各地で活躍していることが素晴らしい。また、こうした活動を好意的に紹介したマスコミの力も大きいと感じた。

・小泉環境大臣の出演は、VTRであってもインパクトがあり良かったと思います。ただ地方創生について漠然としていたかと

・小泉環境相の登場にはびっくりしました。

・小泉環境大臣のビデオで「現場を訪問し話を聞かないとわからないことがある…」と言われていた。地方創生には、行政が現場を知ることの大切さを感じた。

・全体的な意見にもなるのですがこのやねだんとは 今では当たり前となっている核家族化を地域創生と題し地域家族として本来あるべき姿を取り戻そうとしている気がしました。

・やねだんの凄さを感じました

・kk2スタッフとして対応していた為、視聴できませんでした。

・やねだんの中央を流れる思想のようなものにいきなり触れることができたような気がした。初めてのオンラインセミナーとのことだが、心と心が触れ合った仲間同士が集まると、自分はただの傍観者だがリアルな現場に自分も参加しているかのような濃さを体感できた。

・やねだんを取材しているジャーナリストの方々が思うやねだんの思想や考え方の素晴

らしさがよく伝わった。

・豊重会長の信念とそれに共鳴された報道の方々の思いに触れ、刺激を受けることができました。

・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。すみません。

・地域の皆さんのモチベーションを維持し続ける塾長の状況に合わせながらの取組が素晴らしいと思う。

・池上さんの講話は、具体的でわかりやすかった。他方、テレビのようにフリップがあるから、記憶に残りやすい部分もあるのかなと感じた、

・約300人の集落が全員野球をすると湧き出るパワーに感銘した。

・音質に課題有

・やねだんでの学びを生かした取り組みをお聞きでき参考になった。

・ジャーナリストの皆さんが豊重さんを追いかける理由が少し見えたようだ。

・限界集落と言ったら失礼ですが 放って置いたら消滅かもしれないなかつたところで再出発が 日本全体に繋がる先行事例で いつ関係しても驚きと感動を覚えます。

・単なる同窓会や、やねだん、塾生を持ち上げるだけの時間となっており、特に響くものはなかったです。

・色々な方のエピソードが聞けて、興味深かったのですが、初めて豊重さんのお話を聞く人もいたと思うので、もう少しやねだんの取組みについても聞きたかった。

・やねだんのすごさ、豊重塾長のすごさを改めて知ることができました。

・最初から最後までずっと視聴することができなかつたため、1部から5部全体を通してみなさんが今後を見据えて新しい取組みを考えて実行されている事が感じ取ることができました。多くの方がこれからの生活など不透明な部分が多い中、来年はどうなるのだろうと少なからず不安を抱えていることかと思えます。そういった中、今回のオンラインイベントは有意義でヒントを得ることができるプログラムです。チカラをもらうことができました。

・アナウンサーの話は、分かり易く聞きやすい。  
小泉環境大臣の話から現場主義の重要性が理解できた。

・あまり視聴できませんでした。

・それぞれの取り組みがすばらしかった。

・山縣さん、出町さん、土居さんのお話によりやねだんの仕組みや活動内容を知ることができた。

・山縣さんと出町さんのお話はとても興味深く、局を超えて報道として伝えたいテーマを共有するジャーナリスト同志のやりとりはすばらしいなと感じた。

・山縣さん、出町さんがやねだんに魅せられ、その姿を追い続けたそのお気持ちが良く

わかりました。

・誰一人取り残さない、説得でなく納得、とても心に残りました。地域で助ける側と助けられる側に分かると、これでは全員野球はない。一人一人が柳谷で暮らす人を思い、自分たちの柳谷を誇りを思い、今も育てている結束力が強烈でした。

・地域創生は、まずは地元人間が能動的に納得して行動することとそうできる環境が大事だと改めて実感できました。

・良かったと思う

【自由記述】

- ・話し方のプロの方がいらっしやると、飽きずに視聴できました。
- ・自分は地元でコミュニティーに参加しておらず災害時など困らないか不安になった人徳力のある人間になりたいとも思った
- ・池上さんとの対談はとても新鮮でした。  
ただとても頭のいい方なので、遠い世界の話を聞いているような錯覚を覚えました。
- ・地域のお困りごとを確実に広くアピールできる塾長に心酔します。
- ・池上さんのお話が聞けて良かったです。
- ・声が聞きづらかった 過去になりすぎて何を話していたのか忘れた。
- ・人類や世界史の歴史は、未知のウイルスとの関係で作られた面が大きいこと、そしてそれは、産業構造や生活様式の変化をもたらしたことに気づかせていただきました。今回のコロナも、もしかしたら5年先10年先の未来の生活を先取りしているのかも教えていただきました。 困難なときこそ前を向くそして新たな取り組みのチャンスととらえることが必要だと感じました。
- ・対岸の火事ではないということを再認識し、しっかりと来るべき時に備えなければならないと思いました。
- ・池上様のお話がテレビ以外で聞けて、感動しました。次回テレビ放映楽しみです。
- ・世界で猛威を振るった感染症の後に世界の歴史に残した、第一次世界大戦から第二次世界大戦に、新型コロナウイルス感染拡大も世界の歴史に残すような出来事が起こるといってお話にとっても興味深く聴講させて頂きました。豊重塾長も心をひとつに地域力でコロナウイルス対策取り組みについて素晴らしいと思いました。
- ・期待していた池上さんの話や塾長とのやり取りが良かったと思いました。
- ・5年先、10年先に実現される未来が、コロナによって今現実のものになっている事。働き方改革が急速に進んだこと、そのような側面として捉える考え方があることを感じました。
- ・池上さんのジャーナリストとしての解説はさすが。対談はタイトルとの整合性が気になるものの、それぞれのお話は有益でした。人間味を感じる温かいお話。いいですね。松下村塾と重なりますね。 対談では池上さんは聴き手に回って、池上さんの特徴が出ていなかったのが少々残念ですが、今回は「やねだん」ですから、これでよいのかもしれない。そういう意味では、池上さんがしっかり自分を抑えていたということでしょうか。池上さんのすばらしい人間性にも触れることができました。  
豊重さんの人口分布図はExcelで作成してあげてください。
- ・デジタル公民館を、やねだんを中心に、継続的に喚起していくといいと思います。各卒業生の活動が、オンラインで共有されるWebページの解説などからなど。

・池上彰氏と豊重塾長との対談でどの内容も興味深いものでした。  
終息を待つより、今できること！ いい言葉をいただきました。

・池上さんの話、貴重でした。やねだんならではの事前災害に対する地域活動に感動しました。（25期のとき夜間に停電してしまって、ペットボトルでライトを作ったことを思い出しました）

・これからの新しい様式、災害に対応する準備等を教わりました。

・スペインかぜの話題 面白かったです

・池上彰さんの講演、感銘しました。新型コロナはネガティブな面だけ見ていると閉塞感に飲み込まれてしまいそうですが、視点をかえて俯瞰してみることも大切ですね。また対談では、地域創生だけでなく豊重さんの危機意識、機器管理能力の高さもよくわかりました。

・コロナの関係で都道府県知事の発信力が影響を与えてきていることに共感ができます。知事の発信力により、地域の活性化も可能と考えることができるようになりました。また、教育力により地域がまとまること並びに共有化が進むことは、考えていませんでした。今後も、IT化の発展などに期待をしています。

・自然災害とどう向き合えばよいのかよいヒントになりました。

・池上さんの話はいつもながらわかりやすかった。やねだんを卒業した子ども達がUターンでやねだんに戻ってきたという話には感動しました。

・コロナというある種の災害は大変なことだけど、負けちゃダメだと思いました。

・コロナ禍における地域活動について考えることができた。

・自然災害には地域のコミュニティが非常に重要であり、防災、予防には行政の動きは遅いことがある。マスクづくりや倒木など地域のフットワークの軽さなど、まとまりがあるやねだんがうらやましく感じます。

・地域の人材を活用して如何にやりくりするのか考え方が分かった。

・今までの考え方を改めるべき。これからももっと災害は起きる。首都圏がマヒしたことを考え地域の活躍を真剣に考えるべきである。

・池上さんと塾長の対談は、うんうん、とうなずく箇所が多かったです。

・まさに人間の歴史そのものでした

・日ごろの繋がりでしか作り上げることができない関係性が印象的でした。日常的な協力が必要だと感じました。

・政治的観点からの意見を聞きたかった

・自然に対する気配りが欠かせない。

・池上先生の話聞き、感染症が過去の日本の歴史で猛威をふるい、その都度、日本民族がそれを乗り越えてきたという内容に感動しました。現在のコロナ感染を乗り越えるだけの智慧と英知は今の日本民族は絶対に持ち合わせているので、悲観的になることはないと思われます。

・今回の新型コロナも歴史の中でどのような位置づけになるかという視点で、仕事、生活などの見方をプラスの方向にしていくことと、過去にもあったスペイン風邪が戦争の終結原因であったという池上さんの貴重なお話。有意義な時間でした。

・withコロナを踏まえて如何するか？

助け合い、行政に頼る部分、自分たちで出来る事

・やはり番組とかで慣れているのか、話が分かりやすく興味深かったです。

・池上さんの語りに引き込まれていった。塾長のリズムに合わせておられる場面もあり、少しやり辛そうだったが見応えがある内容だった。

・とてもよかったです。新型コロナでマスク不足になり、集落の人分のマスクをみんな協力し合ってマスクを作った話は感動しました。

・昨年実現が叶わなかった、池上彰さんとの対談、オンラインで無事に開催でき、本当に貴重な対談を拝聴させていただきました。

・感動しました。池上彰さんの思い、感動しました。また、やねだんの台風10号襲来前に6本の木を伐採した、事前防災こと。これが地域の防災だ！まさに大切な「自助」の実例で、感動しました。このお話は、全国の地域で、地域防災の模範として、見本としていきたいと思います。ありがとうございます！

・コロナ禍における社会の変革の整理をしていただいて、改めて認識しました。

・おふたりのやり取りがやはり面白かったです。

・withコロナの時代を大きな視点で捉え、これからの時代においての意味とポジティブな視点での変化や変革を進めていくことの大事さを学びました。

・コロナ禍、事前災害の中でも、地方創生を続けて行くことの大切さが分かった。

・テレビではない池上彰さんが自宅？から参加してるのが良かったし、話が面白い。豊重さんの行動の一つ一つには、そこに至るまでの「ウラ」話があり、物事を進めるために大事なところはそういうところなんだろうと感じました。

・お二人の人となりが対談で感じられて良かったです。

・「スペイン風邪とシルクロード、終戦の理由」「50年後、100年後、現在をどう見るか。歴史的視点から今を見る」などが印象に残っています。やねだんの、声をなくした女性とマスクのエピソードは胸に迫るものがありました。

・withコロナ時代の過ごし方、ためになりました。

・台風前の大木伐採に関する話は、塾長が高校生を東日本大震災の現場へ高校生を派遣した狙いが合致したこととなり改めて塾長の先を考える目に驚かされました。

・被災地をおとずれるなど、実体験として体験することが大変重要なのだと思います。また若い子供たちに率先して体験させるということも重要なのだと思いました。池上さんのわかりやすいお話がTV番組をみているかのようでした。半ば無理やり、テレワークになったこの時代、なるほど、教科書に何と書かれるのか自分もそう思って想像することがあります。

・世界史の中で今回のコロナを捉えることの意義は、とても重要だと僕も思います。

歴史を勉強しているので、とても興味深く拝聴しました。人類は自然災害やウイルスの流行など、皆が危機に見舞われた時、転換点なんだと再認識しました。「もし〜だったら…」と予測し行動するクセや、集落の人口を棒グラフで表すことなど、参考にできることがありました。学んだので、盗みたく思います。

・池上彰さんの講演は非常に分かりやすくまとまっていて、現在の社会状況と感染症を考える上で大変参考になった。一つ挙げるとすれば、池上さんと豊重さんのトークかやや噛み合っていなかったのが残念だった。

・池上先生の講演はやはり聴いていて分かりやすい。物事の因果関係など、丁寧にお話して下さり有難かったです。数年後、今のことをどのように教科書に書かれるのか。他人ごとではなく自分事として考えるきっかけになりました。豊重塾長との対談で、台風10号のときに事前に大木を切るなどの備えをしていたことを知り、目から鱗でした。

・池上さんの話が興味深かった。

・池上彰氏の一般的な感染症の話よりもお二人の対談をメインに置いた方がよかったと思います。

・災害に備えるには日頃から、顔の見える活動をしていることが大事。また、子供達に被災地の視察に連れて行き、実際の目で見て感じてもらう取り組みは素晴らしい。これも収益活動で財源があるから出来ることだと思った。

・池上さんとの対談は、内容も面白く、飽きずに見れました。ただタイトルと内容がマッチしていたかは不満です

・地域の実情がよく分かりました。

・地域活動に取り組まれているスタッフの方々に頭が下がるばかりです。先日、熊本県豪雨災害がありました。自然災害が繰り返されています。地域特有の地形なども原因の一つにあり、適応するのは大変なことだと感じています。

・池上さんの歴史は繰り返しており、過去にペストやスペイン風邪によって生活様式や宗教まで新しい様式に変化しているとありましたが適応するのにどのくらい要するのかとても不安です。その中で前を向きまらずやってみる精神で先陣を切っている豊重さんはすごいと言わざる負えません。

・豊重さんと池上さんの対談は面白く、飽きることなく視聴させていただきました。

・池上さんの、今を世界史的な観点からみる、という発想が、とても新鮮でした。

・新型コロナによって未来に向かって何が出来るかを考える機会を得たというお話に感銘を受けた。池上氏のお話は本当に分かり易かった。

・自然災害等後の生活様式の地域での活動の在り方が示され、孤立しない人を救える在り方を教えられた。

・池上氏が語られた、過去の感染症がもたらした世界への影響に関する話など、とても興味深く拝聴させていただきました。

・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。すみません。

- ・よく理解出来なかった。
- ・どこまでが第二部だったのか、記憶にない。
- ・各スピーカーの内容は面白かったが、「withコロナ・常態化する自然災害」という観点はあまり感じられなかった。
- ・音質に課題
- ・オンラインを活用することで様々な方々のお話が聞けたこと、自分も活用したいと思う。
- ・豊重会長と池上彰さんの貴重な対談が拝聴出来たことに感謝しています。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・感染症は大昔があり、それが事変の結びついていることも分かっていた。withコロナを生きるヒントのきっかけとなった。
- ・コロナや自然災害は ある日突然にやってきます。備えあればとよく言いますが一番は気持ちをどのように持ち続けるか？ 人間はに度々立ち上がれないという痛手でも立ち上がる。そこに地方創生の芽が有るのだと思いました。
- ・池上さんと豊重さんの対談は大変よかったです
- ・池上彰さんの戦時下でのウイルスの歴史やスペイン風邪のお話は、とても参考になりました。アメリカのお孫さんが見ているといった会話では、IT時代の可能性を感じました。
- ・池上彰さんの知識の幅広さ、話のテンポはさすがだと感じた。  
豊重さんの台風対策の大木伐採手配等、人徳のさせる技だと感じた。
- ・あまり視聴できませんでした。
- ・池上彰さんの声が聞いてよかったです。 また、説明がわかりやすかったです。
- ・非常に分かりやすい内容で、この先の世界が大きく明るく変わります。
- ・池上彰さんの話術はさすがであり、スペイン風邪の内容が理解しやすかった。
- ・池上彰さんの講演、豊重さんとの対談はとてもよかったです。コロナについて世界史的な視点から解く池上さんの軽妙なトークと分かりやすい解説、とても勉強になりましたし面白かったです。
- ・塾長が話された事前防災について、その大切さ、先を読む力を深く考えさせられました。
- ・コミュニティがあれば生きられる、今は新型コロナで未来像が今目の前に起きている、これを聞いた時、もっと積極的に関わり、個（=孤）でなく、点が線になり、線が面となる地域づくりが今こそ大事と思いました。
- ・コロナ禍でも何ができるかを模索し、小規模でも続けることが大事だと痛感した。
- ・積極的で好ましい

【自由記述】

- ・ やねだんの塾生が地元へ帰り横につながって連携していけば地方の活性力につながると思った
- ・ 同期の卒塾生の頑張っている姿を見てまた、自分も頑張らなくてはと思いました。
- ・ 万江さん！熊本はひとつですね、頑張りましょ！ 夕張、良かったです。
- ・ 最上町の6育は、大変参考になりました。  
土着菌の実践実行、これからも頑張ってくださいですね。
- ・ 声が聞きづらかった 過去になりすぎて何を話していたのか忘れた。
- ・ 3例の方々それぞれ、やねだんで学んだコアの部分を適切に地元地域に溶け込ませて、地域の課題に取り組まれている成果に感動しました。私ももう一度、やねだんを思い出し、それを地域課題に向き合わせて行動を起こします。
- ・ 土着菌への取り組み参考にされて、即戦力として凄いです。実行するのは難しいのに頑張っておられると感心させられました。
- ・ 卒塾生の方達がやねだんの考え方を生かされて地域づくりをされている最上町の取り組みについて素晴らしいと思いとても魅力ある街だと思いました。
- ・ 色々な業種の方の発表が聞いて良かったです。
- ・ 町づくりは町民が主役、現場が大切という事とやねだんと他地域がコラボして新たなサービスが生み出されている事、とても興味深く拝見しました。
- ・ お一人の報告時間が適切で、それゆえコンパクトにまとまった聴きやすい、わかりやすいお話でよかった。やはり、リアルを共有した上でのリモートです。リアル体験を共有したことが基盤となりリモートでも対話ができる。リアル体験なくして対話しても表面的なものになってしまいますし、真意が伝わりにくいものなのです。
- ・ 「自助・共助」と「公助」は、どのように連携すべきか。自治体、政府の方々は、どのように考えますか。
- ・ 山形県最上市の取り組みである6育。  
幼保小中高連携、出来たら素晴らしいと思いました。  
どの事例も利用者様からのきっかけから始まったものなのに感動しました。
- ・ 勉強になりました
- ・ それぞれの取組素晴らしいと思いました。
- ・ 沢田さんも相変わらずパワーあふれていて、まだ話したりなそうでしたね  
いすみ市の取り組み 土着菌を活用された事例が参考になりました
- ・ 最上町は記事で読んだばかりだったので、びっくり。まさか卒塾生だったとは。また各地の取り組み発表に、毎回、塾長が追加でされるお話を聴いて、豊重さんが人に正確

に話を伝えようとする姿勢に心を打たれました。

・各地域ともに、発想豊かに地域の特性を生かしていると感じました。魅力にある地域づくりを考えていることに共感できます。

・事例がわかりやすくよかった。

・塾生の発表で、足りない部分を塾長が補足するところに塾長の愛情を感じました。

・やねだんさんが与える影響の大きさや繋がりの深さが素晴らしいと思いました。

・たくさんの事例を学べてよかった。

・最上町・いすみ市をはじめやねだんから教わったことをしっかり地元行政に活かされていて、今日のリモートでそれぞれつながりあったのが素晴らしいと思いました

・単純に真似すればいいわけではなくその地域ごとにローカライズする必要性が分かった。

・女性たちの活躍が光っていました。

・いろいろな活動があるものですね

・土着菌による栽培など、その土地を最大限に生かせるように、付加価値をあげられるようにすること等様々な工夫が感じられました。また地域づくり＝地域経営、政策の出口をイメージするといった軸があるからぶれずに進められるのだと思いました。

・全体を通じて、住民が困った問題から、自ら発起して、自分たちの町を自ら変えるための取り組みをこのようにしたとの話が少なかったように思います。

・やる気と我慢が大切。

・地方創成に限らず、一人も落伍者をつくらないという理念は共生社会実現に不可欠であり全世代に実践しているやねだんに深く感銘しました。また事例紹介されている方一人一人が生き生きして輝いて見えました。

・地域を元気にする 生涯現役社会

・地方創生の取り組みを聞いて、私たちの地域がどうなのかということを考えてました。現状では、横のつながりとか地域内で協力して行うべきこととかがまったくできていないように思いました。

・澤田さんの総括により整理する事ができた。時間が足りなかった事が影響し、澤田さんのコメントが中途半端になったのは勿体ない気がした。

・登場人物が多すぎてどの話だったかよく覚えていません。とても実践に裏付けられた充実した内容で印象深かったのですが、最後のコメントータの話が内容が軽すぎて浮いた感じがしました。

・申し訳ありません。私用で少し席を外しておりました。

・各地域での地域づくりの事業の取り組み紹介が大変興味深かった。特に夕張のさつまいも作りが印象的だった。

・日本全国に様々な影響を与えているのことに驚きました。

・各地での卒業生の取り組み、またそれをつなぎ発展させていこうと提案する塾長の熱意と意欲が素晴らしく、地域振興ネットワークの将来性を感じた。

・具体的には、どの事例とは言えないが、それぞれが、それぞれに、地方創生、地方振興等に役に立っていることが分かった。

・北海道夕張市の方に対する豊重さんのコメントが無く気の毒な感じだったが、時間管理の進行係も大変なんだろうと想像できた。最上町の「笑子光令化」が印象的でした。

・それぞれの地方創生・地域振興等に関する取り組み事例が伝わってきてとても興味深かったです。

・各地域、自治体等のはじめにやねだんありき、その派生形態の多様さに面白くも興味がわきました。

・卒塾生が各地で塾長から学んだことを実践していることを知り、更に各地で考えを受け継いだ方が現れると地方創生/振興もより加速すると感じました。

・具体的な取り組み事例について興味深く拝見しました。

・やねだんでの学びを実践されている卒塾生のみなさんの活動は素晴らしいものですね。塾長のアドバイスにあったように、卒塾生の連携できたら本当に素敵ですし、それがなによりのやねだんへの恩返しですね。自分も奮起しなくてはと、思わせていただきました！ありがとうございます！

・地方公共団体は、その地域最大のシンクタンクだという言葉が印象的でした。だからこそ、自分たちができること・地域住民の方々が必要としていることなどをすくいあげ、行動する必要があると強く思いました。

・卒塾生たちがそれぞれの場所や立場で活躍する姿を拝見し、また、生き生きと発表している姿を拝見し、豊重塾長がまさに人を育てているのだと感じました。塾長の優しく前向きなひと言も印象的でした。

・それぞれの地域の特性を生かした取組事例は、凄いと感じた。

・それぞれの発表が充実していて一番内容が濃かったように思いました。

・やねだんモデルが卒塾生に根付き、それぞれの地域にあった形にカスタマイズされ、実践されていることは素晴らしい。

・実際の卒塾生たちの取組事例は、興味深く、内容の濃いものも多かった。  
いすみ市の土着菌の話は、もっと聞きたかった

・どれも考えさせられる内容でした。

・限界集落での取組事例において、危機を乗り越えるためにさまざまなアイデアを生み出され、実行していることに頭が下がるばかりです。

・地域再生を目標とし、様々な方たちがやねだんの教えを引き継ぎ、活動していることに感動しました。

塾長の意見を聞くときのスピーカーたちの目が輝いているように見えました。

・やねだんで学んだことが日本各地で活躍しているのがわかりました

・やねだんから北海道、山形、千葉等多くの地域にその思いが広がっていることが、とても素晴らしいと思いました。

・このセミナーが他と何が違うのかを考え、塾生の方が現場で学び、心が響きあったうえでリモートセミナーという形をとることで深く、熱く理解が広まるというお話は感慨深いものだった。人と人の関係が本当にうらやましかった。

・各地方での取り組みがよく分かった。

・全国の自治体で「やねだんモデル」の取り組みが広がっていること、各地で人財育成が行われていることを知ることができたほか、他の自治体での地域振興策について学ぶことができました。

・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。すみません。

・何を実装したのか?!よく覚えていない。  
同じ土着菌をしたのを実装というのか?!

・コロナ禍でやや元気の無いこのご時世に、何と元気で活気のある人がいるのだろうか。感銘を受けました。

・すみません、トラブルで見れてません

・やねだんモデルは地方創生には欠かせないと感じた。

・やねだん豊重会長のDNAを受け継いだ皆さまの本気度が伝わってきました。地に足がついた地方創生の真の姿を見させて頂き、敬意と感動にあふれた学び多き時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

・どんな素晴らしい施設でもそこで働く人々が基本として「やねだん」の立ち上がる強い意思が働き自分自身で咀嚼し実行し地域を振興発展させるこの考えが素晴らしいと感じます。

・単なる同窓会や、やねだん、塾生を持ち上げるだけの時間となっており、特に響くものはなかったです。

・地元に戻ってからのそれぞれの取り組みなど、参考になる話だったのですが、途中で映像と音声が止まってしまい、集中して見ることはできませんでした。

・地域で実践的に活躍されている方の熱意が伝わって来た。澤田内閣審議官の話は、時間切れになってしまったようだが、もう少し聞いてみたかった。

・自分に至らない点、勉強になりました。

・地域づくりの話聞き地元千葉で何ができるか色々考えるきっかけができた。

・冒頭の熊本県あさぎり町からのライブ配信はとてもよかったです。今は青々とした美しい球磨川の様子も拝見できましたし、まだまだ人手が足りない状況のお話など現場感、とても伝わってきました。水害の被害の復旧はとても大変です。本当はお手伝いに行きたいところですが・・・そのほかの方たちの事例もとても興味深かったです。

・最上町の高橋町長さん自らが卒塾生であり、行政のトップとして街づくりを実践されている姿を見て、住民の方は幸せだと感じました。

・地域へ行く、知る、交わる事がどれほど大事な事がヒシヒシと伝わりました。地域福祉活動計画では住民が主役とよく言われますが、住民だけでなく住民が暮らす地域を知ることが要になると改めて思いました。

- ・各地域や事業所での取り組みは、知らないことが多く、参考になりました
- ・特に無し

【自由記述】

- ・全国に散らばったやねだんイズムを感じました。
- ・助産院の鈴木さんのお話しがとても良かったです。印南産のお話しとはスタンスが全く違うと思います。鬼塚さん、相変わらず、お話しが分かり易いです。でも、あまり時間に余裕がなかったので、ライブ映像は必要なかったです。深谷さん、構成から何から流石です！では、仕事します！
- ・それぞれの事業所の実践を知ることができ大変参考になりました。
- ・声が聞きづらかった
- ・児童・育児、障害、高齢など様々な分野の福祉関係者の皆さんが、やねだんで得たノウハウを生かして、それぞれの立場でイノベーションに取り組まれており、私もモチベーションアップにつながりました。
- ・助産師さんは仕事との繋がりを広められて頼もしいです。
- ・未曾有の災害が起こっている中、それぞれ尊厳ある暮らしを目指していくための取り組み、実践例が聞けてとても勉強になりました
- ・我々の業種と違う方々の発表が聞けて良かったです。
- ・やねだんにおいても医療福祉関係の卒塾生が非常に多く、更にWithコロナだからこそそのオンラインサービスなど私たちの事業でも活用してみたいと感じました
- ・第4部の冒頭のお話。話しているときはわかりやすかったのですが、原稿を読まれると、ついていけなくなります。原稿を朗読する場合は、要点をスライドに出したほうが良いと思います。抽象的な、教科書的な話が多かった。具体例がほしかった。参加者が何を求めているか、聴衆分析が足りなかった。タイトルと内容の整合性も気になりました。山形の助産院鈴木さんのお話はよかった。最初の話とは対照的で、自身の体験を自身の言葉で語っていて、「子育て世代とシニアがお互いにやさしく取り組み、子育て世代の笑顔、シニアの笑顔、家族の笑顔、地域の笑顔」「横のつながり」「心のつながり」たいへん共感できました。以降も多くの卒塾生のお話。短時間に多くの方のお話をお聴きできて、高齢の母のこと、知的障害の息子のことと重なり、いろいろな視点で考えることができました。大学の先生のお話は、聴衆を意識せず独りよがりでしたね。お忙しいこともあるのか、いっぱなしで終わりました。相変わらず、こういう講義をしている先生が多いのですかね。
- ・助産師の鈴木さんの取り組みは子育てに不安を持っている母親に寄り添ったものばかりで参考に取入れることが出来たら実行してみたいと思いました。
- ・福祉は日常。ということば、お年寄りと本気で関わるのが大事だという事を再認識しました。
- ・それぞれの取組素晴らしいと思いました。
- ・やねだんに参加されて奥様も引き込んだ鈴木さん。なかなかやろうと思ってもできな

いです。素晴らしいことだと思います。山田理事長  
いまま積極的に事業拡大に取り組まれているようですばらしいと思いました

・卒塾生の方々が、地元で活躍されているレポートを見て、豊重イズムが鹿児島だけでなく、全国で息づいており、さらに増殖をしている状況がわかりました。国に頼らなくても、地域を元気にすることができる可能性を得られたことは大きいと思います。

・災害は、誰もが平等ではないということに、非常に興味がありました。全体最適を考え配慮などを考慮していきたいと思います。・寺子屋の活動においては、年寄りと子供が意見を共有できることについて、大事なことと感じました。日ごろから、子供達に積極的に挨拶を心掛けたいと思います。

・実際に行動することはとても素晴らしいしなかなかできないことだと感じました。

・イキテラの取り組みは、テーマ設定が楽しいと思いました。また介護予防と言いながら、老若男女が参加しているのは素晴らしいと思います。

・皆様の取り組みについて、とても興味深く聞かせていただきました。

・たくさんの事例を学べてよかった。

・多くのおっしゃっている「補欠はない」という言葉が今の社会が抱えているジェンダーレス、障がい者や老後の社会参加に必要ということですね

・専門家に任せるだけでなく相互扶助が大切だと思った。

・山口久美さんや山田一休さんといった、KK2の動画でおなじみの方々が登場され、生配信でのトークがとても自然で良かったです。

・行動あるのみですね

・孫と一緒に取り組むことや、助けが必要な女性をどのようにして助けるか、模索しながら取り組まれていること、諦めずに活動を広げられていることが、やねだん卒業生の本気度だと思いました。

・発表者はよく考えていると感じた。

・自らも被災していて、人のために尽くす姿に深く感銘を覚えました。

・地域愛、絆づくり

・コロナの影響もあり、共助ということが、これからの地域の人々を救うことに必要であると感じました。

・事例報告にて各地域での活躍が伺い知れた。木村さんの話は何度か聴く機会があったが、的を得た内容は何度聴いても良いものであった。

・地域創生ということは単に産業だけでなく、人間関係の創生、障害者への理解などあらゆるものを含んでいるのですね。このセミナーで初めて知りました。

・申し訳ありません。私用で少し席を外しておりました。

・助産院の産後のケアのお話が興味深かった。「泣き止まない赤ちゃん」の対応のお話も印象的だった。

- ・地方におけるジェンダー平等の問題の奥深さには愕然とさせられました。
- ・福祉に関わる卒業生も多いと分かり、興味が湧いた。様々な取り組みの中で、「福祉はイベントではなく日常」という施設長の話や、「自分のしていることが何の為に役立っているのか実感することも大事」という言葉があり、うなずけた。大変刺激を受け、地域コミュニティの形成や発展に可能性を感じた。
- ・具体的には、どの事例とは言えないが、それぞれが、それぞれに、地方創生、地方振興等に役に立っていることが分かった。
- ・取り組みの難しさの一端を垣間見る事が出来て参考になりました。
- ・子どもの頃は野菜はすべて嫌いでした。「ナスが嫌いな子どもが土着菌完熟堆肥で育てたナスなら食べるようになった」と言う話は驚きました。土着菌、すごい。
- ・自然災害は地域によって多様です。今後もこのような情報共有がとても大切なことであること、災害対応に必要であることなどを学ばせていただきました。
- ・新型コロナや頻発する自然災害において、それぞれが工夫した取り組みをしていることが分かりました。今まで普通にできていたことができなくなった時、思考の転換が必要と感じました。
- ・鰻の取り組みが印象にのこりました。コロナだからこそ今できることをやるべきなのだ実感しました。豊重塾長の行動力やおちゃめなところも人を引き付ける魅力のひとつなのだと思います。
- ・すみません、用事があって、この時間の発表を聞くことができませんでした。。。
- ・障害のある人もない人も、子どもも高齢者も、みんな命で繋がっているという言葉が印象的でした。命より大事なものはないと実感することが多いだけに、とても響きました。自分に言い聞かせるとともに、子どもたちにも伝えていきたいです。
- ・自然災害との繋がりはやや薄かったですが、やはり卒塾生の皆さんのそれぞれの取り組みに共通することは、地域とのつながりがあることですね。地域とのつながりを大切すること、人を育てることが如何に大切か、簡単に真似できることではありませんが、刺激を受けました。
- ・コロナ禍で、オンライン等を駆使してコミュニケーションを取りながら取り組みを続けている山口さんは素晴らしいと思った。
- ・長崎県壱岐市のイキテラ・オンラインは参加者がライブで紹介されるなど充実した内容だった。
- ・特にコロナに対する感染症対策で人との距離感が大きく変わった。三密を避けながら、オンラインなどで活動を行う場合、感動や感謝、達成感がこれまで通り、得られるか危惧している。これまでの事例も大事であるが、新たな取り組みを双方向で共有できる仕組み作りが重要と感じた。
- ・孤独死問題や障害者福祉等、興味深い内容。「ままのて」「イキテラ」が特によかった。原稿を読み続けられるだけでは、話が入ってこなかった
- ・地域医療、介護も工夫次第だと勇気をいただきました。

- ・感染リスクの高い現場で取り組まれているスタッフの方々に頭が下がるばかりです。
- ・災害は社会問題のほころびを表面化する。そのとおりですね。コロナ禍で自問自答しなくてはならないかもしれません。木村先生の新たな価値を生み出す秘訣、参考になりました。
- ・自分たちの力で、災害を防ぐという発想が新鮮でした。
- ・スピーカーの皆さんのやねだんとのつながりが本当に良く表れていた。一見何気ない取り組みが最初の一步だったことに親しみを感じた。
- ・いろいろな福祉等での取り組みが発表されていたが、実際利用者になった時の対応がすべてうまくいっているかは、各行政によっても違うと思う
- ・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。すみません。
- ・駆け足気味だったか？！
- ・天草の深谷誠了さん、都城の山田一久さん、ご両名のお話を二時間ずつお聞きしたかった！
- ・すみません、トラブルで見れてません
- ・このセッションの考えとして 聞いていると 心躍るというか やる気スイッチが入ります。 やる気スイッチは その人しか押せない！ 他人には押せないものですから そういう意味で 決められた施設や行政の基準の中で 思考を巡らせ解決の道を探っていること やねだんは やはり凄いと感じました。
- ・助産師の方が素晴らしかったです。また、障害児の親として、障害者福祉の話は大変うなずけました。
- ・第4部は、殆ど映像と音声は再生されず、集中して見ることはできませんでした。
- ・様々な業種で活躍されている方の話が聞けてよかった。
- ・後半部分はある程度安定して視聴できました。
- ・全国津々浦々の豊重イズム、すばらしいと感じました。
- ・オンラインで医療、介護、福祉に取り組むむずかしさを痛感した。
- ・それぞれの事例発表すばらしかったです。ビデオ出演の山形県の方のお話は、年代を越えた輪が地域を支え、子どもたち、お母さんを支えていくことは、地域力を上げて誰もが住みやすい社会づくりにとても有効だと感じました。素敵なところですね！
- ・吉岐市の鬼塚さんが行ったイキテラ・オンラインは良い勉強になりました。
- ・ここで一緒に暮らす仲間と思えば、協力するし助けたいし、助けてもらいたい。災害や非常時には人間味がでる。 性別、障害、国籍などなど、そういった以前に、みんな同じ人間なんだと言う事を改めて感じさせられました。
- ・特にありません

質問10 【第5部「リーダー及びリーダーを支えるリーダーシップ」】  
ご意見ご感想をお願いいたします。（自由記述）

【自由記述】

- ・塾中も感じましたがリーダーの重要性と共にその周りの方たちの存在はとても大きいと思います。
- ・お客様の時間になりましたので、第4部までで失礼します。
- ・長すぎて疲れた。
- ・地域の資源（人的・物的）の参加を得て、初めてリーダーがリーダーシップを発揮できることを教えていただきました。リーダーは地域の黒子であることを意識することが最も大切と改めて感じました。
- ・取り組みが解かりやすく実践されていました。若さも力強く、アイデアも凄いと思いました。
- ・地域の中での立ち位置、リーダーとしての心意気、姿勢が問われてこの事により周りに波及していく事がわかりました。
- ・限界集落の地域の町おこしや鹿屋市の地ビールや大学生との繋がりが感動、笑顔、感謝の気持ちを持ち続ける事の大切さを再確認しました。
- ・Withコロナの中で組織や地域を持続可能なものとするためにはリーダーのアイデアと想い、そして一人一人の才能を引き出す事が重要であることを切に感じました。3-3-3-1方程式、改めて再認識いたしました。
- ・L-CUBE すごいですね。一度見学したいです。エキスパートスタジオに登壇されていますか？ビデオあるんですかね？ 大分県 すごいですね。次々とアイデアを実行する。企画力、調整力、行動力すばらしい。こういう自治体職員の方もいらっしゃるのですね。鹿児島の山本さんの報告は、事実を正確にわかりやすい報告でした。少々、淡々と話しすぎたためか、思い入れがない。苦労談がない。この点をうかがいたかった。湯布院のとみやまさん。行政と地域との連携。3：3：1の方程式。最後にうな井。思いが伝わってきました。米沢市の相田さん。「幸夢員」コンセプトが素晴らしい。「行動力」に対して、「口」「考」動力、「一人の一步より百人の一步」などのキーワードが印象に残りました。
- ・リーダーシップ養成プログラムの構成は、どのようになりますか？
- ・山を切り開きクロスカントリーをつくり、高校生の合宿など、何も無いところから切り開く方法もあることに気づかされました。
- ・人を育てる、人を巻き込む、感動を与えられるリーダーになりたいなと思いました
- ・それぞれの取組素晴らしいと思いました。
- ・大分県竹田市の事例 面白かったです。参考になりました  
相田さんも相変わらず元気そうでいいですね！相田さんの活動紹介とてもよかったです
- ・塾で学んだことを地域で活かすには、場所に応じたアレンジも必要。一人でやるわけ

ではなく、地域リーダーには、仲間づくり、巻き込む仕掛けが必須で、コミュニケーションができない人には無理なこと。本で学ぶ、ではなく、合宿形式でお互いに刺激しながら学ぶことの大切さを知りました。

・リーダーの意気込みなどを感じられたことは有意義であった。住民連携によるオールチームの活動などは、当初は難しいことと感じましたが、アイデアを口に出すことが必要と言うことを聞き、胸がさっぱりしました。

・何がリーダーかももう一度考え直す良い機会になった。

・大分県竹田市の方が襖に写真を用意し、それをカメラ前に見せるという発表は斬新でわかりやすかった。

・地域によって様々な取り組みがあるので、こんなご時世でなければ遊びに行っイベント等に参加したいと思いました。

・たくさんの事例を学べてよかった。

・若者の活動の場を作るという米沢市の方の話に感銘を受けました。自分が笑顔・感動することを大事にすることで、プロジェクトがどんどん共感を得て大きくなっていくすばらしいリーダーシップだと思います

・プロジェクトを持続させていくのにはリーダーもそうだがそれを支える人たちの努力や熱意が重要だと感じた。

・リーダーは天狗にならない、という名言を最後にいただきました。ありがとうございます。

・豊重塾長の原点を知りたいものです

・本気度を作り上げた上でまずはまねをする反目者ほど力になる、街づくりは人づくり、補欠はいない、黒子に徹すること、といったやねだんマインドが染み渡っているからこそ、全員が主体となり、お互いの出番づくりをしながら地域が作られて、利益が還元される仕組みが成り立つのだと思いました。

・リーダーの資質は何かわからなかったが、魅力と我慢かな。

・全てのプロジェクトにリーダー不可欠とのこと。先ずは自身がリーダーの視点で物事の解決策を模索するべきと感じました。

・目配り、気配り、心配り 天狗にならない

・興味深かったです。

・地域を変えていくには、大人数を動かせるリーダーが必要であり、そのリーダーの必要な資質のようなものがおぼろげですがわかったような気がします。

・オンライン研修を締め括るに相応しい内容ばかりだった。温かみがあり、「やねだん」らしさがあった。

・皆さんがっばってるんですね。私も頑張らなきゃと思いんした。

・卒塾生の皆様が本当に地域のために活躍されている事例を拝聴することができ、良い刺激を得ることができました。

・富山さんの湯布院の話は、すごく興味がありました。もう少し詳しく聞きたいと思いました。

・リーダー又はリーダーシップの重要性を改めて認識しました。

・始めるのは一人でも周りを巻き込んで目標を達成させる実例を垣間見ることが出来ました。

・沢山の貴重な言葉を頂いたと思う。みんなで、役割出番づくりを考えるとというのも、本人には分からない能力や自分から言い出せない人、また高齢・障害などがあってもできることをする。認め合い、許し合い、励まし合える地域は素敵だ。人も自分も楽しい、幸せになれる地域づくりを実践されている方々を拝見するだけで嬉しくなってしまった。自分は都内の特別区内に住んでおり、地域を纏めるということが人口的にも桁違いであるので、このような活動が可能なのだろうか。。と考えてしまいました。

・まさに、豊重塾長がおっしゃったように、「天狗にならないこと、黒子であること」、「利己ではなく、利他であること」であると思う。

・「天狗にならない」豊重さんの言葉が響いた

・生き生きと活躍するリーダーたちの熱い思いと今後を感じ取る事が出来ました。

・みなさん、熱いリーダーでしたね。国からの助成に頼る前に、自分たちでできることを考え、地域で強くなること取り組む姿勢に感銘を受けました。

豊重さんの言葉「村民の全員のフルネームが言えるか。名前で呼び合えるか」。やねだんさんのムラほど社員が多くない会社に勤めていますが、全員のフルネームを知りませんでした。そのことを少しもおかしいと思っていませんでした。ソーシャルディスタンスで物理的距離は空けど、全員野球でコロナ禍を勝ち残っていかなければいけないのに。ビハインドで9回裏に入る前に、しっかり円陣を組まなくては。

・豊重塾長25年前の出発点、あわてるな、急ぐな、近道するな。が、今回のさまざまな発表事例に反映されていることが、とても素晴らしい心の広がりだと感じました。

・一人で頑張るのも限界があり、チーム力を引き出すことが大事であることが分かりました。

・一人で頑張らなくていい 一人一人の能力を引き出して 皆の力を引き出す。リーダーとしては使われ役でよいのだという言葉が勉強になります。

・全国で頑張っていらっしゃる卒塾生のみなさんから元気と熱意をいただいて、私もがんばらなくてはと思いました。また、卒塾生のネットワークやいろんな繋がり・連携がさらにすばらしい活動にされていらっしゃることに感動しました！

・地域づくりを、1住民（消費者視点）としてみることも必要ですが、リーダー（会社経営者）の視点が欠かせないことがわかりました。地域づくりは人づくりだと僕は思いますが、そこに会社経営の視点でみることを加えることで、持続可能な地域づくりの策を適切に講じられると思いました。

・地域で活性化の取り組みを実践する上での生のヒントが詰まっていた。他の地域のリーダーにも役立ったと思う。

・設問9と同様です。

・知恵を縛りながら、熱意をもって進んでいくリーダーは求心力もあり、魅力的な方々だなあと思った。

・各地でリーダーシップを発揮している卒業生の発表はバラエティに富んでいて面白かった。

・良きリーダーになるためには、こうした創世塾で学び、刺激を受け、ネットワークを築くことの意義が大きいと感じた。稲盛会長もそうだがそうした素晴らしい思想を持った人たちが増え、人や地域のために情熱を注ぐ社会になり、バトンをつなげていけば素晴らしい。

・大分県竹田市、山形県米沢市の発表は、やねだん卒業生らしい地方創生に成功している感があり、面白く、ためになった。

・豊重さんの一言一言が響きました。

・塾長の言われていた「現場が大事」「あわてるな、急ぐな、近道するな」胸がいっぱいになる。

・人づくりといっても環境や目的によって様々なのでそれぞれのゴールがあるかと思えます。 実際リーダーシップを発揮されている方たちの思いを聞いて率直にすごいなと思っています。

・一人のリーダーの思いに、賛同者が増えていく様子が、よく伝わってきました。

・色々なプレゼンテーションや技法の説明でなく、やはり究極は人づくりなんだと納得できた。 名前で呼べる関係って素晴らしいですね。

・アイデアと協力をもって、成し遂げることができるように教えられた。

・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。すみません。

・第5部、ありましたか？！

・「リーダー及びリーダーを支えるリーダーシップ」は半日では無理なテーマですが、約一時間濃縮されたお話でした。

・すみません、見れてません

・米沢の地域のための必要な考えなど 行政の公務員の方が実施していること これは凄いことと感じました。 前例主義を踏襲する環境の中で 素晴らしいと感じました。このような方が公務員に居るという事 驚きと感動です。ひげはマジック？ 最後の塾長のコメントにビックリでした。

・各リーダーが熱い思いを持って語ってくれるのは大変よかったが、もっと対談という形をとって欲しかったです。

・地域社会は、人が支えているのだと、改めて感じました。しかし、第5部も映像と音声聞きづらかった。

・竹田市の方の発表は分かり易く、写真の展示、提示方法がよかった。

・各方面の方のお話を聞いて参考となりました。

- ・リーダーシップ、アイデアがすばらしいと感じました。
- ・地域の様々な取り組みがあることが知れた。機会があれば地域イベントに参加したいと思う。
- ・各地域の事例発表すばらしかったです。
- ・豊重塾長が、私は使われ役、黒子に徹するという言葉を大事にしたいと思います。
- ・天狗になってはいけない、黒子でいなさい、当たり前という言葉でも中々大変なことではないかと思います。ただ、後輩と一緒に仕事をしていく毎日の中で、大切にしたい、心に刻んでおきたい言葉です。

質問11 今回、ライブ配信で開催し、設問の回答や出演者への質問ができる機能（K2デジタルプレゼンテーションプラットフォーム）をご利用いただきました。今回の方式でのご参加について、またその他全体の運用でお気づきになったことやご意見ご感想をお願いいたします。（自由記述）

【自由記述】

- ・時設問への回答がリアルタイムで集計されて表示されるのがとても良いと思います。参加してる感が増します。設問がある方が真剣に聞けます。プログラムの全体時間がもう少し短い方がいい。
- ・折角なので設問項目をもう少し利用してほしかったです。どうしても受け身の受講になってしまった気がします。
- ・とても良かったです。当初、仕事の合間を縫っての調整でしたので、「長いなあ」とも感じていたのですが、あっと今の時間でした。
- ・質問機能はまったく使いにくい。UIをもっと考えてほしい。全体は、登壇者が多すぎて内容がバラバラでもちじかんが短すぎる。もっと違うまとめ方があったはず。中途半端な内容で、いいところが表現できなかったのではないかな。当段差にちゃんと持ち時間を伝えてあったのだろうか。時間がない、時間がない、と話す人が多すぎる。やねだんすばらしい、とよしげさん素晴らしい、ばかりで薄っぺらい。不気味。延長する可能性がある、とは運営が雑。時間くらいはキチンと管理してほしい。各パートの開始／終了時間が明記されていないのも不親切。
- ・今回は、発言者の皆さんの想いを受け止めることで精いっぱいだったので、質問機能を使用することがありませんでした。今度からは自分の意見をもって参加したいと思います。
- ・活用したいシステムだと、kのシステムを知ることができて良かったです。
- ・ライブ配信初めての参加でしたがとても良い方法で今後も続けて頂けると、参加しやすくなります。
- ・聴講している方への配慮がとても良いと思いました
- ・参加しやすいと思いました。
- ・新たな体験が出来て大変満足しております。今後の活動に生かせればと思います。
- ・たいへん便利ですし、会場に行かなくても自宅で、あるいは場合によっては移動中でも視聴できます。質問できます。すばらしいです。気づいた点としては、講演者がオンライン講演に不慣れですと、すらすらペラペラ一方的に話しすぎます。オンラインでは聴きにくいほど話す速度が速いです。この点、例えば「オンラインで話す場合の注意点」などを箇条的に記載したメモを作成し、事前に講演者に読んでおいてもらうとよいと思います。また、講師への質問がどのように処理されるか前もって説明がほしいです。
- ・緊張せずリラックスして参加する事ができオンライン研修の良さが実感できました。
- ・時折回線がうまくいかずとびとびになりましたが、それでもとても良かったと思いま

す。新しい試み。良かったです。

・日頃使用しているWEB会議システムとは異なり、参加型の開催に素晴らしいと思います。

・オンラインだと、正直聞いているだけの参加に近い形なので、やねだん本来の良さあまり活きていないように感じました。塾長や講師の熱意や本気度がリアルでないとなかなか伝わらないかもしれないと感じました（卒塾生はこれでもいいかもしれないのですが、新規の方には本当の良さが伝わらないのでは）また、講師の方も短い時間での事例紹介で視聴者との直接の質疑応答もできないのが残念です  
時間オーバーはやねだんのいいところなのであたりまえだと思っています。

・オンラインで開催したのは、大成功だったと思います。最初にDPPを使ったのも、大勢の参加者がいることがわかり、視聴に張り合いができました。ただ、視聴側の技術的な問題ですが、長時間の動画視聴ではメモリーの消費が激しいため、残り量を監視して、10分おきくらいにメモリーを解放していました。そうしないと、core i7のCPUであっても音が飛んだり、動きがフリーズするからです。Windows10では動画の視聴でキャッシュが溜まっていくようで、8GB程度のメモリーでは長時間視聴は厳しいようです。ブラウザを閉じればキャッシュは消えるはずですが、視聴を中断するわけにはいきません。休憩時に自動でメモリー解放をするアプリを探して入れることで、あと何もせずに視聴を続けることができました。

・盛りだくさんの内容で、時間がなくて早口となり説明がされたことが残念であった。

・特に違和感もなく参加できた。また、この形式でやってほしい。

・出演者が全国に散らばり、出演者数が多い場合にはオンラインのライブ配信は有効ですね。でも、持ち時間管理が大変そうでした。

・こちらのパソコンのせいかもしれませんが、主に前半に嘔吐しているようなノイズがあったのが気になりました。

・映像も音声もクリアで、聞きやすかったです。  
喋っていない方は必ずミュートにしたほうが、雑音が気にならないと思います。

・やねだんの塾方式で、テーマが盛りだくさんでしたが、久しぶりに6時間の講義、初心を思い出させていただきました。塾長・奥様 スタッフの皆様 ありがとうございます。コロナ災禍の元では、ライブ配信もよい方法の一つだと思いました。その反面、やっぱり、塾はやねだんでうけたいなとも思いました。今後いろいろあるかと思いますが、ぜひ、両方の方法で続けていっていただければと思います。ありがとうございました。

・素晴らしい企画だと思います。ありがとうございました。

・こんなに全国各地とやりとりするライブ配信は少ないのではないのでしょうか、しかも皆さんしっかりとしたプレゼンを行い聞きごたえがありました

・5月のやねだん故郷創世塾に参加申し込みをしておりましたが、中止になり参加できませんでした。なので、今回のオンライン講座の開催はとても、嬉しく思いました。今後も参加していきたいと思います。準備・運営本当にありがとうございました。

・映像や通信が不安なロケーションはビデオレターを流す方式を活用してもいいかもし

れない。

・全体的にスムーズに流れていて、とてもいい運営だったと思います。少し要素が盛りだくさん過ぎたので、わかってはいたのですが、ずっと集中して聞くことは少々難しかったです。オンデマンド配信で復習が出来ると思いますので、聞き逃しても大丈夫という安心感は常にあり、良かったです。司会のお二人も終始安定していて、とても聞きやすかったです。技術的にも、わたし個人的には映像音声止まることなく終始ストレスフリーで聴講できました。スタッフの皆さま、長時間の運営、ありがとうございました。

・特にありません

・たくさんの方が活躍されていて、たくさんご共有いただくことがあるかと思いますが、予定より1時間近くオーバーしたため、タイムマネジメントをうまく進めていただけると良いと思いました。

・アンケートを取り、その結果を集計して表示されたことは、わかりやすくよかった。

・よかったと思う

・恐らく事前のトライアルをやっていたと思われ、最低限の操作はできていたと感じた。

・ライブ配信は、会場参加より多数の人が参加できるので非常にいい取り組みだと思います。

・広重さんや他のパネラーに直接質問ができるのは画期的です。

・自宅でのオンライン参加

ネット環境が余り良くなかったのか画質、途切れが散発したのが残念

・技術的な事では、自分のPCのせいかもしれませんが、時々ジージーというノイズが入り、聞き取れませんでした。

また最初のころ、数回5秒くらい同じところが繰り返しになりました。最後の豊重さんのお話の時も同じようになりました。これはウチのせいですが、その後ネットワークが切れてしまい、再起動中に中継が終わってしまいました。

あと皆さんのお話が駆け足で、もう少しじっくり聞きたい方もいて、少々残念でした。卒業生でないという判りにくい部分も結構あったと思います。何というか、「自分は余所者」感をつい持ってしまいそうな……。

長くて集中力が維持できませんでした。もったいないと思います。

(日にちを分けたら、それはそれで大変なのだと思いますが)

・各々が発表されている間、終始、耳に障る雑音が入っていた。

発言者以外はミュート等の対応が良かったのかもしれない。

・発言していないところがミュートしていないところがあったようで時折、音が回ったのを消したようなノイズが耳障りでした。久保田理事長の顔出し挨拶のフリーズが一番ひどく治ったと思ったら終わっていました。

・濃密な5時間で、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。本来は鹿屋市まで伺わないと参加することができないものですが、オンラインにより、自宅からでも参加することができるようになり、参加者の幅が広がったように思えます。

・素晴らしい機会を頂きましてありがとうございます。

現地での創世塾の感動と、また、違った意味での充実感、感動がありました。すばらしい講師の思いを本当に要点のまとまった、スペシャルな講義で、感動しました。運営本当にありがとうございました。

・時間の制限があると思いますが、各部毎に質問に対する回答時間があってもよかったのではないかと思います。

・画面共有がうまく出来ていない参加者がいたのは気の毒な感じでしたが、全体的にはとても良かったです。

・全体的に見やすかったです。途中フリーズすることもありましたが、ほぼ大丈夫でした。オンラインなので、気軽に参加出来るという点で最初から塾長の熱気をリアルに感じる事ができないのも、ポジティブにもネガティブにも捉えられます。私にとっては良かったです。スタッフの皆さまのご尽力で今回実現出来たものと存じます。ありがとうございました。お疲れさまでした。

・ライブ配信が長いので、その都度、進行状況などの案内があればよかったと思う。（例：プログラムを表示しての進行状況のお知らせ・アナウンス）

・6時間近い研修で長かったが各パート分けされているのがよかった。霞が関の運営もスムーズにできていて良かった。前半は音の悪さを感じたが気がついたら直っていた。ZOOMとかWeb会議システムの威力は抜群と再認識した。東京農大の先生が空き時間にスマホでサクッと入って、おわたたら出ていくという自由度が印象的。また隠岐の方はKK2のZoomに参加しながら、別の地元の方々とのZoom会議画面を画面共有したということでしょうか？一瞬わからなくなりましたが、そんなことまでできるんですね。

・全体的に良く練られていたので安心して視聴出来ました。ライブ配信は、受け手側の環境（PCやWi-Fi）によるところが大きいのですが、長時間のこともあるのか…映像と音が止まってしまう現象が頻繁に起き集中出来なかったことが自分的には残念でした。

・ときおり、意見や質問を紹介した方がDPPが活きるのかな。

・やねだん卒塾生1134名の原点、塾長のお話はいつ聞いても心に沁みます。最近「半沢直樹」というTVドラマが放映されましたが、豊重塾長を彷彿とさせるメッセージ性が話題となったあたり、令和の時代もまんざら捨てたものじゃないなと思いました。豊重イズムの合言葉を「説得より納得」と勝手に解釈している自分の現在地を、今更ながら考えさせてくれる今日の第1回オンラインやねだん、あらためて心に沁みました。ありがとうございます。10回の卒塾生、相川さん目が輝いていましたよ。

・Web会議の進行は難しいのですが、KK2、やねだんとの連携により上手く進行していたと感じます。

途中どこかで音が回っている(やねだん側?)で聞き取り難い時がありました。

・コロナ過でのオンラインセミナーというこれまでと異例なセミナー貴重な体験をしたように思います。Zoom等WEB会議もインターネットの状況に左右されるところ、またPC側の操作は参加者によるため、実際何が起きるかはわからないため運用側はハラハラされたことと思います。

・こういったライブ配信での開催、ありがとうございました！なかなか出かけることができない状況でも、参加することができ、大変有意義なお話をたくさん聞かせていただ

くことができました！ ありがとうございます！

・登壇者が多く、次々進むためプログラムのどの位置に参加者がいるのか、分かりにくかった。例えば、お話しされている方とは別にワイプでタイムテーブルや話のテーマなどを表示頂くと、とても分かりやすくなると思います。今回、参加者とのコミュニケーションがあまり取れなかったように思うので、合間あいでコメントをしてほしいという呼びかけがあれば嬉しいです。できれば、ライブでコメントでき、それが他の参加者にも見られるようになると登壇者と視聴者とのコミュニケーションが取りやすくなり、参加者にとっても共感できる学びになるかと考えます。

・接続の不具合が何度か生じたこと以外は、それほど問題は感じなかった。

・（運営について）さすがKK2様ですね。素晴らしいコンテンツ内容、そして通信技術でした。（全体感想）心に響く言葉が多々ありました。「汗を流さないと感動がない。感動が地域づくりの原点だ」、「補欠はいない。全員レギュラー」などの言葉に、そうだよな、そうだよな、と過去の自分を振り返り、納得しました。そして思い出すきっかけになりました。また、最後に塾長がおっしゃった言葉も印象的でした。「リーダーに求められることは天狗にならないこと。黒子になること。利他的を止め、利他的であること」忘己利他に通じる教えで、深く感銘を受けました。

・時間の関係で、豊重さんへの質問が1問に限定されてしまったのは残念でした。

・内容が多岐にわたり充実していたのですが40分ほどオーバーしてしまったのでタイムキーパー的なスタッフを置いた方がよかったように思いました。

・設問の回答は結局1問しかなかった。今回のテーマでこの機能の必要性は疑問。視聴者が出演者への質問をできるのはいいと思うが、結局時間切れで1問しか取り上げられなかった。多くの方の意見や発表を視聴できたのはありがたかったが、さすがに5部制かつ発表者が多すぎて詰め込みすぎ感があった。時間的にももう少し余裕があり、各部の区切りで回答してもらえようになればどうか。初めてのオンラインでいろいろ苦労もあられたと思うが、内容には非常に満足できた。出演者や運営スタッフに感謝したい。

・話者以外はマイクオフを徹底しないと聞きづらいところがあった。

・設問は1問だけ、講師への質問も1つ発表するだけでは機能を活かせてないと思う。発表を少なくしてでも、ライブ視聴とDPPの特性を活かし、つど質問に答えていただくなど出演者とのやりとりがあっても良いのでは。

・スムーズな進行でした。

・アンケートの内容は最初に案内してほしい。（その方が書きやすい）  
DPPについては内容が盛りだくさん過ぎて、質問することを忘れてしまいました。  
プログラムの内容はとても良かったと思います！！が、いかんせん、長い。。2日に分けるとか、翌週に分けるとか、ができれば、オンライン受講もそれなりに聞けたと思います。5時間以上椅子に座って聞くだけはなかなかの修行です。  
技術的なところで気になったところは下記です。

・話し手以外の人の音声かONになっていたのも、画面がそちらに移ってしまった。（紙をめくる音、咳などに反応）→せっかく■■■■さんが豊重さんの隣にいたのでこまめにON/OFFができれば尚よかったですけど・・・山田一久さんのPPT、共有すべき画面が違っていたようです（視聴するにはそれほど影響はありませんでした）  
・山縣由美子さんはさすがの画面映えでした。オンラインに合わせた化粧、照明、バッチリでした

！！（他の方は化粧までは難しいですよ。背景も気になってしまいました）

・司会の■■■■さんもちょうど良かったです。声がとても聴きやすい。

・テレビ会議とWeb会議を組み合わせたシステムを初めて参加することができた。まだおおまかではあるがkk2オンラインセミナー構成図を理解することができた。映像と音声クリアでストレスなく参加することができた。

・kk2での運用を見させてもらいながらの視聴となりますが大成功ですね。これからアンケートで様々な意見があると思いますが改善できることは改善し、進化していけばいいなと思っています。

人の配置図はあったのですが配信構成図があればいいなと思いました。

・発信者の方によっては、素のまま参加されている方もいらっしゃる、生活感などの程度まで見えてしまってよいのか少し気になりました。

・配信はかなり長い時間であったが、スムーズだなと思いました。PCから離れなければならないこともありましたが、アーカイブを希望します。

・オンライン学習ができよかった。

・途中でも質問できる形式が面白い試みでした。所用のため出入りをしましたが、どの辺りを講演でしているのか、表示があれば非常に助かりました。

・子どもが小さいため、土曜日に開催される研修やセミナーなどに参加するには保育所や家族に預けなければならないのですが、今回の塾はオンラインだったため、家で育児をしながら受講させていただくことができました。

・Zoomを使ったセミナーとして、システムのトラブルも運営のトラブルもほとんどなく、大変スムーズに進行できていたと思いました。

・移動することなく、参加出来るシステムはとてもありがたい。

・霞が関の司会者のリップシンクがズレているのが残念でした。それ以外は素晴らしいオンラインセミナーだったと思います。

・リモート参加多の為、音質に課題がある方への対処の整理が今後必要そう

・Web会議とLive配信の組合せがwithコロナ時代のやり方となるだろう。時間の関係から質問タイムが取れなかったことが残念である。

・素晴らしいの一言！

・映像と音のずれがひどかったです。全体が長すぎです。もっと熱い対談を期待していましたが、単なる報告会となってしまっているのが残念でした。オンラインを活用して、一堂に会さなくてもセミナーを開けるという試みは素晴らしかったです。もっと洗練して欲しいと思いました。

・リアルなイベントであれば、到底参加いただけないような方からも、オンラインを通じてお話を聞けるという事が、これからの新しい時代の可能性を感じることが出来ました。リアルの対話とオンラインの融合=ハイブリッドがこれからのキーワードだと思いました。

・ライブ配信での参加は気軽にできて良いと思います。講演の時間が少々長く、土曜日の午後という時間にずっと見続けていることができず途切れとぎれでの視聴となってし

まいりました。休憩時間の終わりがわからず、次に見たときはすでに始まっていたという場面が2回ありました。

- ・ 発言者以外のマイクがONになっており、その音が気になった。

- ・ 特にありません。

- ・ 最後に、設問があったほうが、よかった。途中で、リンアップシンクがずれているのが気になり、卒塾生のときも一部発生していたように感じた。

- ・ やねだんの活動、地域の取り組みなどを知ることができた。

- ・ 設問をもう少し活用してライブ配信参加者と一体感をつくれればよかった。

- ・ zoomの使い方を理解できておらず、大変ご迷惑をおかけしました。

6時間と言う時間は卒塾生なので短く感じられました。

- ・ 初めてでしたが、当日、無事に最後まで聴くことができて良かったです。

このような機会があれば、今後も積極的に参加させていただきたいです。

- ・ 遠隔地や障害などで出かけられない環境や今回のようなコロナ禍の中では、大変貴重な機会だったと思います。

- ・ 良かったと思う

質問12 今後の「【オンライン】やねだん故郷」開催に向けて。テーマ、希望の講師・卒塾生、開催時間等のご意見をお願いいたします。（自由記述）

【自由記述】

・卒塾生のアフター講習会のような開催をしてもらえると嬉しいです。参加したときはほとんどの人が熱い気持ちを持ち帰る事が出来る。でも数日数カ月数年たってほとんどの人が目の前の課題に押しつぶされてしまう。非常に勿体ないな一と思います。

・すみません！お客様の時間が来ましたので、これで失礼します。こんな感じだったら、全国に皆さんの頑張りを多く見れますね。ありがとうございました！

・長過ぎる。もっと内容をしぼらないと、誰にも何も伝わらない。  
鹿児島にいたアシスタントみないな余計な人はいらぬ。

・今回、5部に分かれてそれぞれのテーマで構成されていましたが、一つひとつのテーマが興味深かったです。できれば、2～5回に分けて、それぞれのテーマで深く学びたいと思いました。

今回は不参加でしたが、ぜひ森どんの講義をよろしくお願いします。

・開催時間は4時間までが程よいように思います。

・今日は有難う御座いました。参加させて頂いた時の事が懐かしく豊重先生や土井先生もお元気でとても懐かしく、元気をもらえたような気がしました。全国の卒塾生との繋がりも強く感じ、自分はまだまだ努力、頑張りが足りないと感じ頑張らないといけぬと感じました。

・今回のオンラインやねだんはとても実りある塾であったと大変勉強になりました。有難うございました。

・色々な業種の方々のお話を聞きたいです。

・今回の開催時間が最適だと思います。アフターコロナのコミュニティの在り方に関してお話を伺えればと思いました。

・最初から最後まで視聴しました。疲れました。  
たいへんよい内容、良い試みでした。コロナ禍でやむを得ない事情があったと思いますが、さすがに長時間オンラインで視聴するのは結構厳しいです。開催時間や、サテライト会場を設けて実施するなど運営の工夫など課題があると思います。  
ありがとうございました

・継続的な、デジタル公民館「やねだん創生塾」が、どのようになっていくか、楽しみにしています。

・色々な業種の方のお話を機会があればと思います。

・若者をその気にさせること、仕事を辞めない現場づくりをテーマにもらえたらと思います。

・WEB開催で長時間の傍聴は、なかなか疲れます。  
内容や分類別に数日（1日3時間程度）で行うのがいいのでは？と思いました。

・私の感想としては、オンラインは卒業生向けなのかなと感じました。リアルやねだんが早く再開できるようになることを期待しています（今回のオンラインの取り組みや挑戦は評価されるべきものであり、開催を否定するものではありません）やはりリアルとオンラインではそれぞれいいところ、難しいところがあると思います。オンラインの最大の長所は現場に行かなくても参加できることです。特にやねだんから距離がある私たちにとっては気軽に参加できることが大変ありがたいことでした。希望講師 森どん  
今回お姿拝見できなくて残念でした

・ 紹介された地域の事例は、農産物、水産物、景観など、最初から売り物になる産物を持っているところが多かったと思います。私の田舎は、名産品がとくになく、農業も漁業も盛んというわけではなく、港にクルーズ船がたまに来るとい地域です。そのような平凡な寂れた地域に産業を芽生えさせ、復活させた地域の紹介、徳島県上勝町のような事例を紹介いただければうれしく思います。

・ ・とくにありません

・ たくさんの卒業生のご活躍されている事例をもっと知りたいと感じました。

・ 一般参加者または初回参加者としては、各プログラムのおおよその予定時間、出演者の入塾期、氏名、所属がわかるとありがたい。

・ もっとやねだん魂を知り、世の中のために活かせるようになるためできることを実行していきたいと感じました。

・ 例年通り、2回開催できるといいと思います。

・ 石川県金沢市の9期生の■■■■です。

塾長のお元気な姿と卒業生の講義がきけて大変有意義でした。

コロナが落ち着いたら、来年は、久しぶりにやねだんに遊びにいきたいと思っています。

・ もう少しテーマにしていたwithコロナでの活動の話がもう少し出ればよかったと思いました

・ トラブルなどがあってもタイムスケジュールに沿うように進行するともっと良くなると思いました。

・ 質問が多いですね。

・ 実際の3泊4日の人徳養成塾でのお話を、オンラインで聞いてみたいと思いました。やねだんが素晴らしいことはよく理解できたセミナーでしたが、その教えを自分のものに少しでもするためには、プチ人徳塾のような講座をオンラインで受講できれば良いのかなと思います。お話を聞くだけではない、双方向・参加型の講座が良いと思います。

・ 特にありません

・ 事前にテーマや卒業生の活動を詳細に知ることが出来ればと思いました。そこで自己紹介等は事前に行い、発表や意見交換の時間を創れば良いと思いました。

・ 卒業生のその後の活動を知るためには本日の10~15分のプレゼン時間で十分かなと感じた。

・ 良いプログラムかと思いますが、実際に関わってきていなかった人間には内容が詰め込みすぎて、このおおよそ5時間45分ある途中でキャパシティオーバを起こしてしまい

、内容が頭にほとんど入ってこなくなっていました。せめて長くとも、一般的なオペラの上演時間である2時間半から3時間程度に収めていただくと、もっと、もっと心に響くものになったものと思います。

- ・オンラインでの全て参加の5. 5Hは疲れた 視聴はある程度絞り込んで参加したい
- ・特にありません。

・希望の講師・・・田村厚生労働大臣・木村俊昭さん・平井卓也デジタル担当大臣  
開催希望時間・・・18時以降

・終了時間は守ってください。今回のような大幅な超過があると私が周囲の人たちに迷惑かけてしまいました。

・時間も限られている中で仕方がないことですが、もっと話したいのに、話せなかった方も多かったように思えます。今回は総論としての位置づけとし、次回は、各論、すなわちよりテーマを絞った形での開催でもいいのかなと感じました。

・このようなスペシャルな機会は貴重です。  
皆様ご多忙と思いますが、年に1回は開催していただけたら嬉しいです。  
時期や長さ、講師陣は、ほんとうに、ちょうどよい感じだったと思います。  
ありがとうございました。

・短時間にいろいろなテーマが盛り沢山あったので、すべてのテーマについていけなかった。同じ時間ならもう少しテーマを絞った方がわかりやすいのではないかと思いました。

・最初は長時間すぎるかと思いましたが、今はこれくらい詰め込んでも問題ないと感じています。

・長時間ではあったが、所々の休み時間や、オンラインなので、自主休憩などもとることができ、多くの卒業生のお話も面白く興味深かったので、最後まで聞き入ってしまいました。実践事案のプレゼンテーションをまた伺ってみたいです。

・①小泉大臣には、オンラインで参加してほしかった。②池上講師には、TVなどでやっている内容に加えて、地方創生と関連付けての話がもう少し切れればよかったと思う。さすが、説明・話が旨いと感じた。③出来れば、塾長の意見などをもう少し長く聞ければ良かった。

・やねだんの卒業生の方々は皆さん素晴らしい地域のリーダーとして活躍されているのがよくわかった。宮崎県都城市の山田さん。『なせばなる』の地域づくり」山形県米沢市の方々が印象的でした。さすがに全部見続けるのは不可能で2名くらいの発表はきけなかった

・特にありません

・卒業生同士による、お互いの職場体験交流会。

・今回のように、オンラインでワールドワイドの展開(塾長の娘さん等)、実際のやねだんでの実体験による開催を交互に展開したら今まで以上に、注目されるような気がします。オンラインやねだんについては、テーマを絞って、2~3時間の内容だとPCでは集中できるのではないかなと感じました。

・13時~18時半過ぎというスケジュールですと、途中小休憩があるものの後半は聞き疲れ状態となるため、昼休憩を挟んで午前と午後で分けても良いと思いました。

・関係なくてすみません。鰻のさばき方に興味がわきました 笑

・テーマ：地域で子どもの育ちを育むには。

・また機会があれば是非参加したいと思います。

本日は本当にありがとうございました。

・正直、今までの故郷創生塾のように3泊4日という時間をかけ、対面による開催が出来ない分、密度の濃い内容は難しいと思う。根本的に発送を転換しないといけないと思うが、妙案は浮かびません。

・コロナを契機とした新しい生活様式において、オンラインとリアルをどのように組み合わせ、地域振興を進めていくのか。感動ある取り組みが続けていけるのか。事例を知りたい。

・コマが短いため、プレゼン者の事業の紹介がメインとなってしまう、テーマの話を深く話されていないように感じた。またオンラインで5時間超は中々集中力が続かないため、集まらずにできるオンラインならでは、時期を分けるなどした方が聞きやすいと思った。

・6時間は、さすがに長すぎるかと。オンラインでは、集中力も続かず、環境が悪いと音声も途切れたりノイズが入り、話も入ってこない。発表者の数を減らし内容を濃くして時間も短縮が良いのではないのでしょうか。4:3のPPTが多いですが、文字が読めないのも全員16:9プレゼンテーションで作成して欲しい。

・やねだんの現在の状況について知りたいです。

・開催時間が6時間超は長いと感じました。

・成功事例もいいのですが卒塾生に悩んでいる人もいるかと思えます。塾長による悩み相談なんていかかでしょうか。塾長が一生懸命に語りかけている姿、目を輝かせてそれを聞いている塾生をみて成功していない人にも力を与えてあげられるのではないかと。

・5時間は長く感じました。  
1度に行わず日を分けて開催していただいてもよかったかなと思いました。

・もう少し時間を絞って頂けると参加しやすいと思います。

・やねだん卒塾生の失敗談、これはどうしてもできなかったことなどが聞いてみたい。開催時間は長時間ではなく、定期的（一か月に2時間とか）にやられることを望む

・我々は主体者として同窓会的な意味合いもあり充実の時間だったが、いち参加者の立場であれば、やはりオンラインにおける半日は長すぎると感じた。

・運営スタッフ（ヘルプ）として参加したため、あまり視聴できませんでした。後日、オンデマンドで視聴させていただきます。

・事例紹介で飽きるから一人10分というのは、やはり短いか?! 10分で概要紹介。塾長とのやり取りで深掘りするのに5分くらいあると、抽象化されたヒントや気づきを、参加者が持って帰れる確率が上がるような気がする。

・大変興味深い内容で勉強になりました。登場されたスピーカーの皆さまの熱意と人間力に触発されました。一点気になったのは、故郷創世塾の塾長と卒塾生の同窓会に紛れ込んでしまったのか？という気持ちにさせられたことでしょうか？一人一人のお話プレゼンが塾長に向けて話しているようで、塾と無関係の参加者が取り残されていると感じました。今後に向けて、参加対象者は誰か？そこに訴求したいことは何か？整理がいるのではないのでしょうか？

・各人持ち時間少なく消化不良の方も多いため、次回は今回の人を4分の1に減らして、濃い内容としては

・「やねだん故郷創塾」をオンラインで開催したため、卒塾生でない私一般人は、外から先生と生徒のやりとりを見ていたように感じてしまった。創世塾や卒塾生の成果など事例をお願いしたい。

・オンライン関係で やねだん 実践されている方々の 今後の方向でどうあるべきか？KK2の ■■■■さんとかの今後のやねだんでセミナー いかがでしょうか？ 時間は回数重ねるのであれば 一度の時間としては 1~2時間で分けて実施いかがでしょうか？ よろしくお願ひします。 ありがとうございます。 ■■■■  
拝

・ 時間を短く ・ テーマを分かりやすく ・ 進行をしっかりと ・ 対談を厚く

・今回は卒塾生の取り組み事例が多かったため、次回は、豊重さんのお話、やねだんの活動についてもう少し掘り下げたお話が聞きたいです。全体的に少し詰め込みすぎてゆっくりお話が聞けなかったため、もう少しテーマを絞って時間を短くした方が、集中できると思いました。コーナー変わりの時間を利用して、やねだんのビデオなど流れると良かったかと思ひます。

・やねだんと他に公民館活動を行っている地域を紹介して、公民館活動の今後とデジタル化についてのお話聞きたいです。

・やねだんの今後の取組みや報告なども、その他の分野でも参考になる内容なので参加を続けていきたいと思ひます。ライブ配信は参加がしやすいです。土日での開催だとしたら、2時間ぐらいの長さにしていただくと集中して拝見することができます。

・延長時間も含めて開催時間が長かった。(やねだんに参加したことがないので)エンディングのうなぎの話等、関係者でワイワイやっているだけでよくわからなかった。後援や協賛企業がついているのであれば、各部の休憩時間中に、CM等(観光紹介、事業紹介)を流してもよいのではないかと思ひました。

・今回は少し時間が長過ぎたと感じています。

・これ以外にも、紹介できる事例があればもっとして欲しい。定期開催してはどうか？

・少しライブ時間を短くし開始時間も午前中からであれば良いかと思われる。

・テーマをしばって、開催時間をもう少しコンパクトにして発表者の時間を長くとっていく、分科会的な開催もよいかと感じました。

・卒塾生の活動報告書 例えはA4  
4ページくらいにまとめたものをweb上で掲載できないものではないでしょうか？

・入塾を希望しており、大きな楽しみを持っていますが、反面、他人の言葉を素直に受

け止めることができるだろうか、自分の殻から出る事ができるだろうかと不安もあります。希望者と卒塾生の対談機会があればいいなと感じました。

・お疲れさまです。取りまとめは■■■さん？ あさぎり町■■■です。ご講演いただいた先生の中には、お時間を気にされてか、若干早口になられたお話も感じました。複数回開催前提で、十分な時間設定ではいかがでしょうか。それと、日常生活をしながら聞く『やねだん』も最高ですが、あの公民館で、現世からある意味隔離された状態の『やねだん』もいいものだと、改めて感じました。